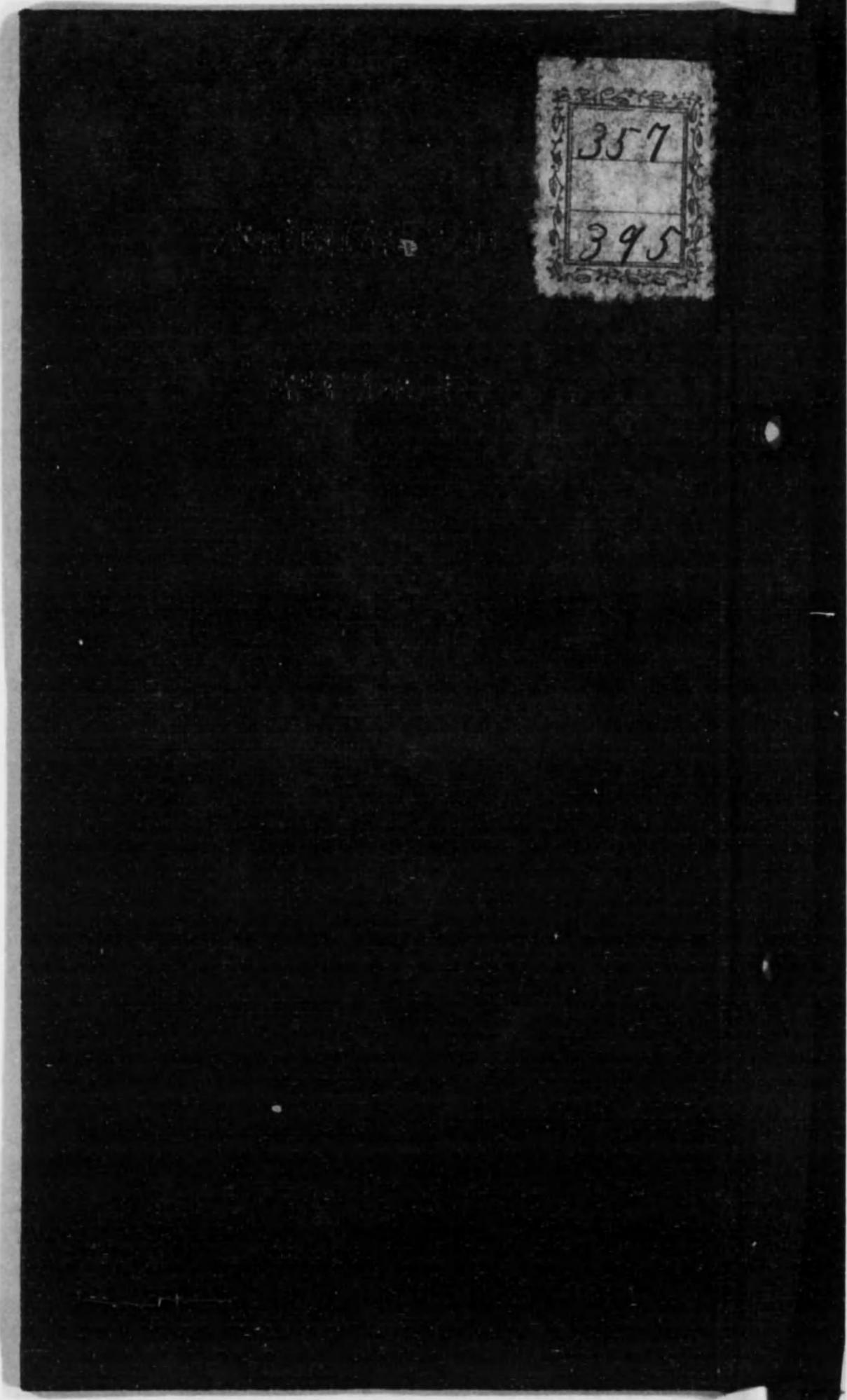


始



357  
395



357

水産關係法規類集

395

水産廳

47269  
391

水産關係法規類



次

漁業法中改正法律施行期日ノ件	一
漁業法施行規則	二
漁業手数料令	三
漁業ニ關スル願書申請書ニ貼付ノ收入印紙消印ノ件	四
漁業法施行規則ノ規定ニ該當スル漁業ノ名稱ノ件	五
漁場圖調製心得及難形ニ關スル件	六
免許漁業ニ關スル願書申請及届書ノ書式	七
漁業組合令	八
漁業法第四十三條ノ八ノ規定ニ依リ漁業協同組合ノ自ラ營ム漁業ニ關スル件	九
目次	一〇



目次

二

漁業共同組合ノ自ラ營ム漁業ノ許可ニ關スル件……………一五三

漁業組合ノ組合員タルコトニ得サル者ヲシテ利用セシムルコト  
ヲ得ル施設出資及剩餘金配當等ニ關スル件……………一五七

昭和九年勅令第二百三十四條第二條第二號ノ規定ニ依リ指定シ  
タル漁業ノ名稱ノ件……………一六一

漁業登録令ニ依ル登録申請書式……………一六三

登録稅法……………一八七

機船底曳網漁業取締規則……………一九一

機船底曳網漁業取締規則第一條第一項ノ規定ニ依ル漁業名稱指定……………二一一

機船底曳網業禁止區域……………二一三

機船底曳網漁業取締規則第七條ノ二ノ規定ニ依ル禁止區域及期間……………二二三

機船底曳網漁業取締規則施行ニ關スル件……………二二九

秋刀漁業制限ニ關スル件……………二四五

漁業共同施設獎勵規則……………二四七

船舶安全法……………二五五

船舶安全法施行令……………二六九

船舶安全法施行規則……………二七一

漁船特殊規則……………三五七

漁船特殊規程……………三六三

漁船ノ業務認定ニ關スル件……………三九九

船鑑札規則……………四〇一

水產會法……………四一三

水產會法施行期日ノ件……………四二五

水產會法第二十六條ニ依ル異議ノ申立訴願及行政訴訟ニ關スル件……………四二七

水產會法施行規則……………四二九

水產會補助金交付規則……………四三九

宮城縣水產會々則……………四四一

宮城縣牡蛎水產組合定款……………四四九

目次

三

目次

宮城縣牡蛎水產組合種牡蛎檢查規程	四六七
宮城縣牡蛎水產組合制牡蛎及殼牡蛎檢查規程	四七五
牡蛎營業取締規則	四八一
無限(保證、有限)責任何々漁業協同組合規約例	四八七
無限(保證)責任何々漁業組合規約例	五二九
保證(有限)責任何々漁業組合聯合會規約例	五六一
何々漁業組合規約例	五八一
食肉等棄取締規則	五九九
食品市場規則	六〇九
產業組合法施行規則	六二一
農業動產信用法	六三七
農業動產信用法施行令	六四五
農業倉庫業法施行規則	六四九
重要物產同業組合法	六五九

重要物產同業組合法施行規則	六六九
水產組合規則	六八五
公有水面埋立法	六八九
公有水面埋立法施行令	七〇五
預金部普通地方資金融通規則並同實施取扱規程	七一九
預金部地方資金利子計算ニ關スル件	七五七
縣稅賦課徵收規則	七六二
農林省分課規程	七六五
鮑及海鼠製品取締規則	七六七
宮城縣水產課事務介掌	七七一

目次





四四四 任期満了ノ爲  
 四四六 得  
 〃 八 於テ之ヲ組織  
 四五二 三十四人  
 四五八 補佐シ  
 四六三 第七十四條  
 四七〇 依ラサルヲ得  
 四七九 他ハ白地  
 〃 式第一  
 四九〇 之ヲ  
 〃 八 對シ  
 五〇〇 其ノ  
 五〇四 爲スノ外  
 九 採捕スルコト

役員ハ任期満了ノ爲  
 得ス  
 於テ組織  
 三十二人  
 補作シ  
 七十四條  
 依ラサルコト  
 得  
 地ハ白地  
 主ヲ  
 對テ  
 其ハ  
 爲スル外  
 採捕スルコト

五二〇 但シ  
 五二七 漁具ノ新調  
 五三〇 金何圓  
 〃 三、  
 五三二 受ケタル  
 五三三 尙漁業者タル  
 五三〇 保證金額ハ  
 五三六 事務員ハ  
 五三九 第十四號  
 〃 一、  
 五四〇 行フ場合  
 〃 九 且議長及  
 五四二 第六章  
 〃 四 之ヲ定ム  
 〃 九 殘金アルトキ

但ツ  
 漁具ノ新調  
 金何圓  
 二、  
 受ルタル  
 尙漁業者ヨル  
 保證金額ノ  
 事務員  
 第十七號  
 行ラ場合  
 且ハ議長及  
 第七章  
 之ヲ安ム  
 殘餘アル事ハ

五四四 貸付ケタル物  
 五四三 總會ノ決議ヲ  
 五四四 船溜  
 〃 六 五十三條  
 五四六 假渡  
 〃 七 遅滞ナク  
 〃 一〇 期限ハ  
 〃 三 第八十七條  
 〃 一 反スルモノ  
 〃 一 付付期間  
 〃 一 漁業ヲ爲ス  
 〃 二、  
 〃 二、  
 〃 五 何圓以下  
 〃 五 本會ハ  
 五六七

貸付ケタルモノ  
 總會ノ決議ノ  
 決議ヲ  
 船溜  
 五十二條  
 假渡  
 遅滞ナル  
 期限ニ  
 第九十七條  
 反スルニモノ  
 アリト  
 貸代期間  
 漁ルヲ爲ス  
 一、  
 何圓以上  
 本會ノ

五九二 規定スルモノ  
 五九二 左ニ掲クル  
 五九五 外入漁權  
 五九六 外入漁權  
 六〇〇 爲サントスル  
 六〇三 除ク  
 〃 二 其ノ患者ナル  
 六〇三 漁業中ハ  
 六〇四 食肉營業  
 六〇五 營業者カ  
 六〇五 許可ス  
 六〇八 第十九條  
 六〇九 營業者ハ  
 六二二 事業施行ノ方  
 八

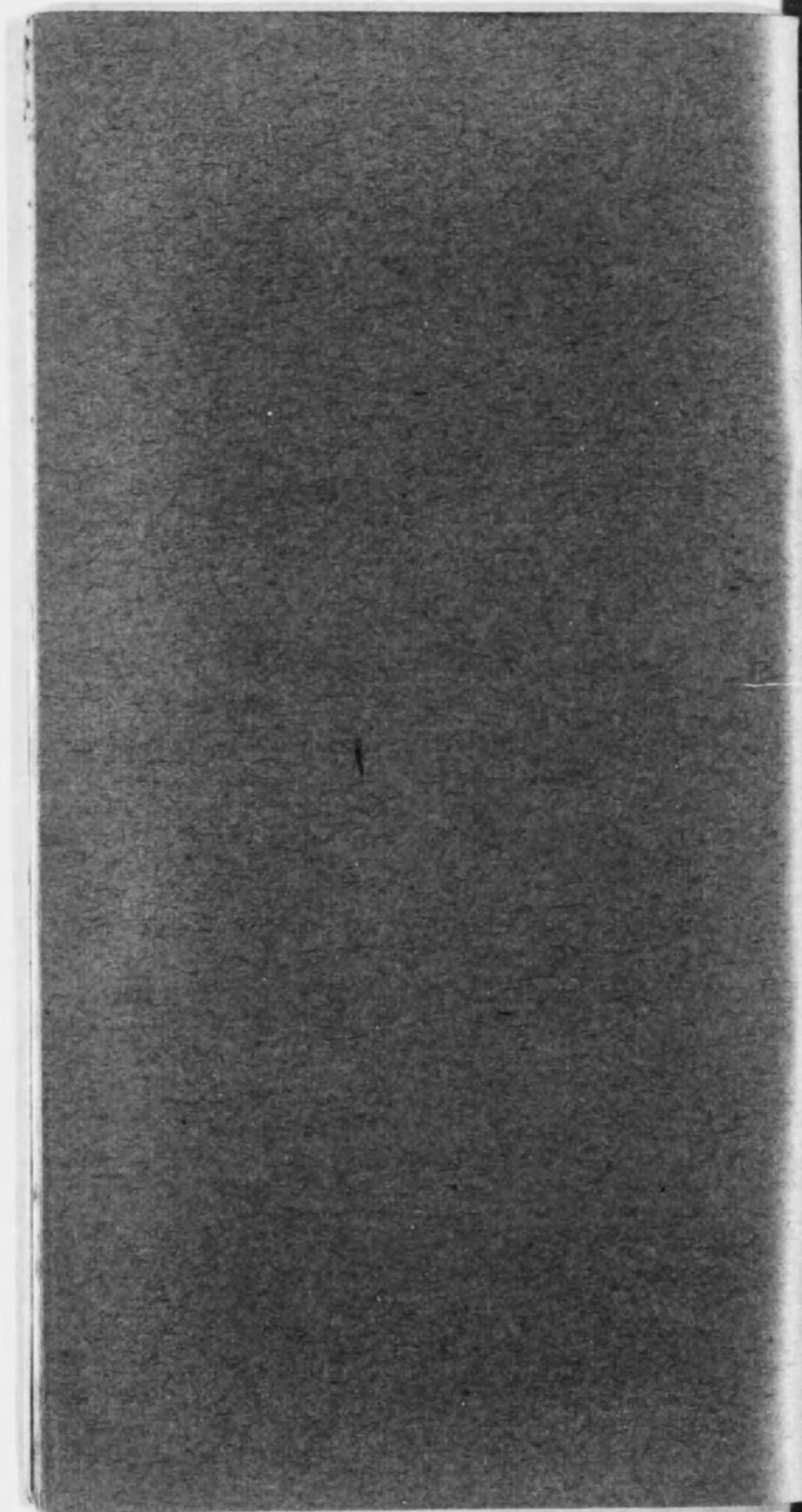
規定スルモノ  
 外ニ損クル  
 外入權  
 爲キントスル  
 防ク  
 其ノ患者アル  
 トキ  
 從事中  
 養肉營業  
 營業者ヘ  
 許ス  
 第十七條  
 營業者ハ  
 事業施行

六二七	一〇	變更ニ付キ	變更ニ付テ	農業倉庫組法	農業倉庫組法
六二九	二	在リテハ	在トテハ	北海道ニ於テ	北海道ニ於テ
六三二	五	販賣組合又ハ	販賣組合及ハ	相集リテハ	相集リテハ
六三二	九	保證金額	保證拾額	特別	特別
六三二	九	配當	對當	同業組合聯合	同業組合聯合
六三二	一三	總組合員	總知合員	會ニ對シ	會ニ對テ
六三六	四	聯合會	聯項會	特別ノ事情	特別ノ事情
六三六	四	期日迄ニ	期月迄ニ	準用ス	準用シ
六四三	九	同意アルニ	同意スルニ	招集ヲ	招集テ
六四三	九	「カルチヴエ	「カルウヴエ	假決議ノ趣旨	假決議ノ通知
六四三	九	「ター」	「ター」	ノ通知ヲ發シ	趣旨ノミヲ發
六四九	一	係ラサルモノ	係ラサルモノ	屬スル	屬スノ
六五〇	一	ニ付テハ	ハ付テハ	又ハ代理人	又テ代理人
六五〇	一	竣工ノ豫定	竣工ノ豫定	第四十五條	第四十四條
六五五	一	聯合農業倉庫	聯合農業倉庫	變更ヲ命スル	豫更ヲ命スル
六五五	一	證券	券	コト	コト
六五六	八	爲スモノ	爲ムモノ		

六八二	二	爲スヘキ事項	爲スヘキ事項	區會又ハ	區會又ハ
六八二	五	於テモ	於テハ	關スル手續	關スル手續
六八二	六	業務ノ執行	業務ノ遂行	社ノ合併ノ	社ノ合併ノ場
六八七	五	第一條乃至	第一條及	合併ノ	合併ノ
六八九	四	干拓	干拓	受理ノ日	受理日
六八九	四	損害ヲ生スヘ	損害ノ生スヘ	防止	開止
六九二	一	キ	キ	協議調ヒタル	協議調ヒタル
六九二	一	無償ニテ	無償ニシテ	地本長官	地本長官
六九六	二	遅滞ナク	遺滞ナク	公共團體	公共團體
六九七	一	前條	同條	於テハ	於テ
六九七	二	同條第	同第	邱内	邱内
六九八	七	狀況ノ變更ニ	狀況ニ因リ	日出前	日出前日
六九八	七	因リ	因リ	航行碇泊	航行碇泊
七〇〇	二	埋立ニ關スル	埋立ニ屬スル	共同シテ	共同ニテ
七〇〇	二	受ケタル者ノ	受ケタル者		
七〇一	三	罰金	罰下		

〃	七五二	〃	七四二	七三二	〃	〃	七三〇	七二九	〃	七二八
3	七五二註一 七五八二ノ三	〃	七四二 二	七三二 一	〃	〃	七三〇 一	七二九 九	〃	七二八 四
100,000	金額 場合ニ限ル	翌日ヨリ	モノトス	付テハ	削除	又ハ	(第五號様式)	(第三號様式)	日本	債券引受ノ形 式ニ依ルモノ
1000,000	第額 場合ノ場ニ限ル	翌日ヨリ	キノトス	付テハ		又ハ	(第五條様式)	(第三條様式)	月本	債券引受ニ依 ルモノトス

				七二	〃	七二九
				表	3	3
				課目課額ハ 當業者 礦油免稅	$\frac{0.032}{2}$	100,000
				課目課額 當業者 礦油免稅	$\frac{20.03}{2}$	1000,000





法

明治四十三年四月二十一日  
法律第五十八號  
昭和八年三月二十八日  
法律第三十三號改正

第一條 本法ニ於テ漁業ト稱スルハ營利ノ目的ヲ以テ水産動植物ノ採捕又ハ養殖

ヲ業トスルヲ謂フ

本法ニ於テ漁業者ト稱スルハ漁業ヲ爲ス者及漁業權又ハ入漁權ヲ有スル者ヲ謂フ

第二條 公共ノ用ニ供セサル水面ニハ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外本法ノ規定

ヲ適用セズ

第三條 公共ノ用ニ供スル水面ト連接シ一體ヲ成ス公共ノ用ニ供セサル水面ニハ  
本法ヲ適用ス

漁業法

漁業法

二

前項ノ水面ノ占有者又ハ其ノ敷地ノ所有者ハ行政官廳ノ許可ヲ得テ漁業ニ關シ之カ利用ヲ制限シ又ハ廢止スルコトヲ得

第四條 漁具ヲ定置シ又ハ水面ヲ區劃シテ漁業ヲ爲スノ權利ヲ得ムトスル者ハ行政官廳ノ免許ヲ受クヘシ其ノ免許スヘキ漁業ノ種類ハ主務大臣之ヲ指定ス

第五條 水面ヲ專用シテ漁業ヲ爲スノ權利ヲ得ムトスル者ハ行政官廳ノ免許ヲ受クヘシ

前項ノ免許ハ漁業組合カ其ノ地先水面ノ專用ヲ出願シタル場合ノ外之ヲ與ヘス

第六條 前二條ノ外主務大臣ニ於テ免許ヲ受ケシムル必要アリト認ムル漁業ノ種類ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第七條 漁業權ハ物權ト看做シ土地ニ關スル規定ヲ準用ス

第八條 漁業權ヲ抵當ト爲シタル場合ニ於テ其ノ漁場ニ定著シタル工作物ハ民法第三百七十條ノ準用ニ關シテハ漁業權ニ附加シテ之ト一體ヲ成シタル物ト看做ス

民法第三百七十條 抵當權ハ抵當地ノ上ニ存スル建物ヲ除ク外其目的タル不動産ニ附加シテ之ト一體ヲ成シタル物ニ及フ

但設定行爲ニ別段ノ定アルトキ及ヒ第四百二十四條ノ規定ニ依リ債權者カ債務者ノ行爲ヲ取消スコトヲ得ル場合ハ此限ニ在ラス

同第四百二十四條 債權者ハ債務者カ其債權者ヲ害スルコトヲ知リテ爲シタル法律行爲ノ取消ヲ裁判所ニ請求スルコトヲ得

但其行爲ニ因リテ利益ヲ受ケタル者又ハ轉得者カ其行爲又ハ轉得ノ當時債權者ヲ害スヘキ事實ヲ知ラサリシトキハ此限ニ在ラス

前項ノ規定ハ財産權ヲ目的トセサル法律行爲ニハ之ヲ適用セス

第九條 裁判所ノ土地ノ管轄カ不動産所在地ニ依リテ定マル場合ニ於テハ漁場ニ最近キ沿岸ノ屬スル市町村又ハ之ニ相當スル行政區劃ヲ以テ不動産所在地ト看做ス

第十條 漁業權ハ行政官廳ノ許可ヲ受クルニ非サレハ之ヲ分割シ其ノ他變更スルコトヲ得ス

地先水面專用ノ漁業權ハ行政官廳ノ認可ヲ受クルニ非サレハ之ヲ處分スルコトヲ得ス

漁業法

三

漁業法

四

- 第十一條 漁業權者ノ有スル水面使用ニ關スル權利義務ハ漁業權ノ處分ニ從フ
- 第十二條 入漁權者ハ設定行爲又ハ舊法施行前ノ慣行ニ從ヒ他人ノ專用漁業權ニ屬スル漁場内ニ入會ヒ其ノ專用漁業權ノ全部又ハ一部ノ漁業ヲ爲スノ權利ヲ有ス
- 第十三條 入漁權ハ物權ト看做ス
- 第十四條 入漁權ハ相續及讓渡ノ目的タル外權利ノ目的タルコトヲ得ス
- 第十五條 入漁權ハ漁業權者ノ承諾アルニ非サレハ之ヲ讓渡ストヲ得ス
- 第十六條 但シ別段ノ慣行アル場合ハ此ノ限ニ在ラス
- 第十七條 漁業權又ハ入漁權ノ各共有者ハ他ノ共有者ノ三分ノ二以上ノ同意アルニ非ザレバ其ノ持分ヲ處分スルコトヲ得ズ
- 第十八條 第十五條ノ二 漁業權又ハ入漁權ノ各共有者ガ其ノ共有ニ屬スル漁業權又ハ入漁權ヲ變更セントスル場合ニ於テ他ノ共有者ノ住所又ハ居所分明ナラザルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ裁判所ノ許可ヲ以テ其ノ者ノ同意ニ代フルコトヲ得
- 第十九條 漁業權ノ存續期間ハ二十年以内ニ於テ行政官廳ノ定ムル所ニ依ル
- 第二十條 但シ第二十四條第一項ノ規定ニ依リ又ハ第三十四條ノ規定ニ基ク命令ニ依リ漁業ヲ

停止セラレタル期間ハ之ヲ算入セス

前項ノ期間ハ漁業權者ノ申請ニ依リ之ヲ更新スルコトヲ得

第十七條 設定行爲ニ於テ存續期間ニ付別段ノ定ナキ入漁權ハ目的タル漁業權ノ存續中存續スルモノト看做ス

但シ入漁權者ハ何時ニテモ其ノ權利ヲ拋棄スルコトヲ得

第十八條 入漁權者カ入漁料ノ支拂ヲ怠リタルトキハ漁業權者ハ其ノ入漁ヲ拒ムコトヲ得

入漁權者カ引續キ二年以上入漁料ノ支拂ヲ怠リ又ハ破産ノ宣告ヲ受ケタルトキハ漁業權者ハ入漁權ノ消滅ヲ請求スルコトヲ得

第十九條 入漁料ハ入漁ヲ爲ササルトキハ之ヲ支拂フコトヲ要セス

第二十條 入漁權ニ關シ前三條ノ規定ニ異リタル慣行アルトキハ其ノ慣行ニ從フ

第二十一條 行政官廳ニ於テ必要アリト認ムルトキハ漁業ノ免許ヲ與フルニ當リ之ニ制限又ハ條件ヲ附スルコトヲ得

第二十二條 漁業ノ免許ヲ受ケタル日ヨリ一年間其ノ漁業ニ従事スル者ナキトキ又ハ

漁業法

五

引續キ二年間休業シタルトキハ行政官廳ハ其ノ免許ヲ取消スコトヲ得  
第二十三條 行政官廳ノ認可ヲ得テ漁業ヲ爲ササル期間及第二十四條第一項ノ規定ニ依リ又ハ第三十四條ノ規定ニ基ク命令ニ依リ漁業ヲ停止セラレタル期間ハ前條ノ期間ニ之ヲ算入セス

第二十四條 水産動植物ノ蕃殖保護、船舶ノ航行碇泊繫留、水底電線ノ敷設若ハ國防其ノ他ノ軍事上必要アルトキ又ハ公益上害アルトキハ主務大臣ハ免許シタル漁業ヲ制限シ、停止シ又ハ免許ヲ取消スコトヲ得

漁業權者ニシテ本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ違反シタルトキハ漁業ヲ制限シ又ハ停止スルコトヲ得

第二十五條 錯誤ニ依リ漁業ノ免許ヲ與ヘタルトキハ行政官廳ハ之ヲ取消スコトヲ得  
第二十六條 免許漁業原簿ノ登録ハ登記ニ代ハルモノトス

登録ニ關スル規程ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第二十七條 漁業免許ノ取消アリタルトキハ行政官廳ハ直ニ之ヲ登録シタル抵當權者及先取特權者ニ通知スヘシ

前項ノ權利者ハ通知ヲ受ケタル日ヨリ三十日以内ニ漁業權ノ競賣ヲ請求スルコトヲ得

但シ第二十四條第一項又ハ第二十五條ノ規定ニ依ル取消ノ場合ハ此ノ限ニ在ラス  
漁業權ハ前項ノ期間内又ハ競賣ノ手續完結ノ日迄競賣ノ目的ノ範圍内ニ於テ仍存續スルモノト看做ス

競賣ニ依ル賣得金ハ競賣ノ費用及第一項ノ權利者ニ對スル債務ノ辨濟ニ充テ其ノ殘金ハ國庫ニ歸屬ス

競落ヲ許ス決定力確定シタルトキハ漁業免許ノ取消ハ其ノ効力ヲ生セサリシモノト看做ス

第二十八條 漁業權ハ登録シタル權利者ノ同意アルニ非サレハ之ヲ分割シ其ノ他變更シ又ハ拋棄スルコト得ス

第十五條ノ二ノ規定ハ漁業權ヲ分割シ其ノ他變更セントスル場合ニ於テ登録シタル入漁權者ノ住所又ハ居所分明ナラザル場合ニ之ヲ準用ス

第二十九條 漁業者ハ左ニ掲クル目的ノ爲必要アルトキハ行政官廳ノ許可ヲ得テ他人

漁業法

ノ土地ヲ使用シ又ハ立木竹若ハ土石ノ除去ヲ制限スルコトヲ得

一、漁場ノ標識ノ建設

二、魚見若ハ漁業ニ關スル信號又ハ之ニ必要ナル設備

三、漁業ニ必要ナル目標ノ保存又ハ建設

第三十條 漁業者ハ必要アルトキハ行政官廳ノ許可ヲ得テ特別ノ用途ナキ他人ノ土地ニ立入り漁業ヲ爲スコトヲ得

第三十一條 漁業ニ關スル測量、實地調査又ハ前二條ノ目的ノ爲必要アルトキハ行政官廳ノ許可ヲ得テ他人ノ土地ニ立入り支障木竹ヲ伐採シ又ハ障碍物ヲ除去スルコトヲ得

第三十二條 前三條ノ行爲ヲ爲ス者ハ豫メ其ノ旨ヲ土地ノ所有者又ハ占有者ニ通知シ爲ニ生シタル損害ハ之ヲ賠償スヘシ

第三十三條 行政官廳ハ漁業者ニ漁場ノ標識ノ建設又ハ漁具ノ標識ノ設置ヲ命スルコトヲ得

第三十四條 地方長官ハ水産動植物ノ蕃殖保護又ハ漁業取締ノ爲主務大臣ノ認可ヲ得

テ左ノ命令ヲ發スルコトヲ得

一、水産動植物ノ採捕ニ關スル制限又ハ禁止

二、水産動植物若ハ其ノ製品ノ販賣又ハ所持ニ關スル制限若ハ禁止

三、漁具又ハ漁船ニ關スル制限若ハ禁止

四、漁業者ノ數又ハ資格ニ關スル制限

五、水産動植物ニ有害ナル物ノ遺棄又ハ漏泄ニ關スル制限又ハ禁止

六、水産動植物ノ蕃殖保護ニ必要ナル物ノ採取又ハ除去ニ關スル制限若ハ禁止

七、水産動植物ノ移植ニ關スル制限又ハ禁止

主務大臣ニ於テ前項ノ制限又ハ禁止ヲ爲スノ必要アリト認ムルトキハ命令ヲ以テ之ヲ定ムルコトヲ得

前二項ノ命令ニハ犯人ノ所有シ又ハ所持スル漁獲物、製品、漁具及第一項第七號ノ水産動植物ノ沒收並犯人ノ所有シタル前記物件ノ全部又ハ一部ヲ沒收スルコト能ハサル場合ニ於テ其ノ價額ノ追徴ニ關スル規定ヲ設クルコトヲ得

第三十五條 汽船「トロール」漁業、母船式漁業、汽船捕鯨業又ハ機船底曳網漁業ハ

漁業法

命令ノ定ムル所ニ依リ主務大臣ノ許可ヲ受クルニ非ザレバ之ヲ營ムコトヲ得ズ  
前項ノ漁業ニ關スル制限又ハ禁止ハ主務大臣之ヲ定ム

第三十六條 爆發物ヲ使用シテ水産動物ヲ採捕スルコトヲ得ス

但シ海獸捕獲ノ爲ニスル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第三十七條 主務大臣ハ遼河魚類ノ通路ヲ害スルノ虞アリト認ムルトキハ水面ノ一定  
區域内ニ於ケル工作物ノ設置ニ付制限又ハ禁止ニ關スル命令ヲ發スルコトヲ得  
工作物ニシテ遼河魚類ノ通路ヲ害スルモノト認ムルトキハ主務大臣ハ其ノ所有者又  
ハ占有者ニ除害工事ヲ命スルコトヲ得

第三十八條 前條第二項ノ規定ニ依リ除害工事ヲ命シタルトキハ主務大臣ハ工作物ニ  
付權利ヲ有スル者ニ對シ相當ノ補償ヲ爲スヘシ

但シ利害關係人ノ申請ニ依リ除害工事ヲ命シタルトキハ主務大臣ノ定ムル所ニ依リ  
申請者之ヲ補償スヘシ

前項ノ補償金額ニ付不服アル者ハ補償金額決定ノ通知ヲ受ケタル日ヨリ九十日以内  
ニ通常裁判所ニ出訴スルコトヲ得

第三十九條 公共ノ用ニ供セサル水面ニシテ公共ノ用ニ供スル水面又ハ第三條ノ水面  
ニ通スルモノニハ命令ヲ以テ第三十四條、第三十六條乃至第三十八條、第五十五條  
及第五十九條ノ規定ヲ適用スルコトヲ得

第四十條 漁業ニ従事スル者ノ雇傭並雇人及遺族ノ扶助ニ關シテハ勅令ヲ以テ規程  
ヲ設クルコトヲ得

第四十一條 海軍艦艇乗組將校、警察官吏、港務官吏、税關官吏又ハ漁業監督吏員ハ  
漁業ヲ監督シ必要アリト認ムルトキハ船舶、店舗其ノ他ノ場所ニ臨檢シ帳簿物件ヲ  
檢査スルコトヲ得

前項ノ臨檢ニ際シ漁業ニ關スル犯罪アリト認ムルトキハ搜索ヲ爲シ又ハ犯罪ノ事實  
ヲ證明スヘキ物件ノ差押ヲ爲スコトヲ得

臨檢、搜索及差押ニ關シテハ間接國稅犯則者處分法ヲ準用ス  
但シ同法第四條ノ規定ハ漁業監督吏員以外ノ者ニ之ヲ準用セス

第四十二條 一定ノ地區内ニ住所ヲ有スル漁業者ハ行政官廳ノ許可ヲ得テ漁業組合ヲ  
設クルコトヲ得

漁業法

一一一

漁業組合ノ地區ハ市町村ノ區域又ハ市町村内ノ漁業者ノ部落ノ區域ニ依リ之ヲ定ムヘシ

但シ特別ノ事情アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

町村制ヲ施行セサル地方ニ在リテハ町村ニ準スヘキモノヲ以テ前項ノ町村ト看做ス北海道ニ於テハ郡ヲ以テ漁業組合ノ地區ト爲スコトヲ得

第四十三條 漁業組合ハ法人トス

漁業組合ハ漁業權若ハ入漁權ヲ取得シ又ハ漁業權ノ貸付ヲ受ケ組合員ノ漁業又ハ其ノ經濟ノ發達ニ必要ナル共同ノ施設ヲ爲スヲ以テ目的トス

漁業組合ハ本法ニ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外自ラ漁業ヲ營ムコトヲ得ス

組合員ハ漁業組合ノ取得シ若ハ貸付ヲ受ケタル専用漁業權又ハ入漁權ノ範圍内ニ於テ各自漁業ヲ爲スノ權利ヲ有ス

但シ組合規約ヲ以テ別段ノ規定ヲ設クルコトヲ得

第四十三條ノ二 漁業組合ハ左ノ事業ヲ行フコトヲ得

一、水産動植物ノ蕃殖保護其ノ他漁場ノ利用ニ關スル施設

二、船溜、船揚場、漁礁其ノ他組合員ノ漁業ニ必要ナル設備ノ設置

三、組合員ノ漁獲物其ノ他ノ生産物ノ加工、保護、運搬又ハ販賣ニ關スル施設

四、組合員ノ漁業又ハ其ノ經濟ノ發達ニ必要ナル物又ハ資金ノ供給ニ關スル施設

五、組合員ノ遭難防止又ハ遭難救恤ニ關スル施設

六、前各號ニ掲グルモノノ外組合ノ目的ヲ達スルニ必要ナル施設

前項ニ掲グル組合ノ施設ハ組合員ノ利用ニ支障ナキ場合ニ限り組合員タルコトヲ得ザル者ヲシテ命令ノ定ムル所ニ依リ之ヲ利用セシムルコトヲ得

第四十三條ノ三 前條第一項第三號又ハ第四號ノ事業ヲ行フ漁業組合ハ組合規約ノ定ムル所ニ依リ組合員ニ出資ヲ爲サシムルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ組合員ニ出資ヲ爲サシムル漁業組合（漁業協同組合）ノ組合員ハ

出資一口以上ヲ有スベシ

出資一口ノ金額ハ均一ニ之ヲ定ムベシ

出資一口ノ金額ノ最高限ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第四十三條ノ四 漁業組合ハ組合規約ノ定ムル所ニ依リ其ノ經費ヲ組合員ニ分賦スル

漁業法

一三

第四十三條ノ五、第四十三條ノ二第一項第三號又ハ第四號ノ事業ヲ行フ漁業組合ノ組織ハ無限責任、有限責任及保證責任ノ三種トス

無限責任ノ組合ニ在リテハ組合財産ヲ以テ其ノ債務ヲ完済スルコト能ハザル場合ニ於テ組合員ノ全員ガ連帶無限ノ責任ヲ負擔シ有限責任ノ組合ニ在リテハ組合員ノ全員ガ經費負擔額ノ外其ノ出資額ヲ限度トシテ責任ヲ負擔シ保證責任ノ組合ニ在リテハ組合財産ヲ以テ其ノ債務ヲ完済スルコト能ハザル場合ニ於テ組合員ノ全員ガ其ノ出資額又ハ經費負擔額ノ外一定ノ金額（保證金額）ヲ限度トシテ責任ヲ負擔ス

第四十三條ノ六、無限責任又ハ保證責任ノ漁業組合ヨリ脱退シタル組合員ハ脱退前ノ組合債權者ニ對シ其ノ脱退ヲ登記シタル後二年間前條第二項ノ規定ニ依ル責任ヲ負擔ス

第四十三條ノ七、新ニ無限責任又ハ保證責任ノ漁業組合ニ加入シタル組合員ハ其ノ加入前ニ生シタル組合ノ債務ニ付テモ亦第四十三條ノ五第二項ノ規定ニ依ル責任ヲ負擔ス

第四十三條ノ八、漁業協同組合ハ命令ノ定ムル所ニ依リ行政官廳ノ許可ヲ得テ自ら漁業ヲ營ムコトヲ得

第四十三條ノ九、漁業協同組合ハ組合規約ノ定ムル所ニ依リ組合ノ地區内ニ住所ヲ有スル者ニシテ漁業者ニ非ザルモノヲ組合員ト爲スコトヲ得

第四十三條第四項ノ規定ハ漁業者ニ非ザル組合員ニハ之ヲ適用セズ

第四十三條ノ十、漁業組合ハ組合規約ノ定ムル所ニ依リ組合規約ニ違反シタル組合員ニ對シ過意金ヲ課スルコトヲ得

第四十四條、漁業組合聯合會ハ所屬ノ漁業組合及漁業組合聯合會ノ共同ノ目的ヲ達スル爲行政官廳ノ許可ヲ得テ之ヲ設立スルコトヲ得

漁業組合聯合會ハ法人トス  
漁業組合聯合會ハ第四十三條ノ二第一項第三號若ハ第四號ノ事業ヲ行フ漁業組合又ハ漁業組合聯合會ヲ以テ之ヲ構成ス

漁業組合聯合會ノ組織ハ有限責任及保證責任ノ二種トス  
第四十三條第三項、第四十三條ノ二、第四十三條ノ三第二項乃至第四項、第四十三

條ノ四、第四十三條ノ五第二項、第四十三條ノ六、第四十三條ノ七及前條ノ規定ハ漁業組合聯合會ニ之ヲ準用ス

但シ第四十三條ノ二中組合員トアルハ所屬ノ組合、聯合會及組合員トス

第四十五條 漁業組合及漁業組合聯合會ニハ所得稅及營業收益稅ヲ課セス

第四十六條 漁業組合又ハ漁業組合聯合會ノ設立ハ其ノ主タル事務所ノ所在地ニ於テ

登記ヲ爲スニ非サレハ之ヲ以テ第三者ニ對抗スルコトヲ得ス

登記シタル事項ノ變更ハ其ノ登記ヲ爲スニ非サレハ之ヲ以テ第三者ニ對抗スルコト

ヲ得ス

第四十七條 行政官廳ハ何時ニテモ漁業組合又ハ漁業組合聯合會ノ事業ニ關スル報告

ヲ徴シ、事業ニ付認可ヲ受ケシメ、事業及財産ノ狀況ヲ検査シ其ノ他監督上必要ナ

ル命令ヲ發シ又ハ處分ヲ爲スコトヲ得

第四十八條 漁業組合又ハ漁業組合聯合會ノ決議若ハ役員ノ行爲ニシテ法令、行政官

廳ノ命令若ハ規約ニ違反シ又ハ公益ヲ害シ若ハ害スルノ虞アリト認ムルトキハ行政

官廳ハ左ノ處分ヲ爲スコトヲ得

一、決議ノ取消

二、役員ノ解職

三、解散又ハ事業ノ停止

第四十九條 本法ニ規定スルモノノ外漁業組合又ハ漁業組合聯合會ノ設立、登記、管理、構成者ノ權利義務及加入脱退、組織變更、分合、解散、清算其ノ他ニ關シ必要ナル事項ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第四十九條ノ二 漁業組合又ハ漁業組合聯合會ノ役員何等ノ名義ヲ以テスルヲ問ハズ組合若ハ聯合會ノ事業ノ範圍外ニ於テ貸付ヲ爲シ又ハ投機取引ノ爲ニ組合若ハ聯合會ノ財産ヲ處分シタルトキハ一年以下ノ懲役若ハ禁錮又ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス

前項ノ規定ハ刑法ニ正條アル場合ニハ之ヲ適用セズ

第五十條 漁業組合又ハ漁業組合聯合會ニ於テ本法中特ニ組合又ハ聯合會ニ關スル

規定ニ違反シタル場合ニ於テハ其ノ役員ヲ三百圓以下ノ過料ニ處ス

本法ニ基キテ發スル組合又ハ聯合會ニ關スル命令ニ於テハ組合又ハ聯合會力之ニ違

反シタル場合ニ於テ其ノ役員ヲ參百圓以下ノ過料ニ處スル規定ヲ設クルコトヲ得

前二項ノ過料ニ付テハ非訟事件手續法第二百六條乃至第二百八條ノ規定ヲ準用ス  
 非訟事件手續法第二百六條、民法第八十四條、第一千零七條及ヒ民法施行法第二十二條及ヒ商法第十八條第二項、第二百六十二條、第二百六十二條ノ二及ヒ商法施行法第十一條第二項、第二十七條、第三十九條第二項、第五十四條、第六十條第二項、第六十九條、第七十五條第三項、第八十七條及小切手法第七十一條ニ定メタル事件ハ過料ニ處セラルヘキ者ノ住所地ノ地方裁判所ノ管轄トス  
 同第二百七條 過料ノ裁判ハ理由ヲ附シタル決定ヲ以テ之ヲ爲スヘシ  
 同裁判所ハ裁判ヲ爲ス前當事者ノ陳述ヲ聽キ檢事ノ意見ヲ求ムヘシ  
 又當事者及ヒ檢事ハ過料ノ裁判ニ對シテ即時抗告ヲ爲スコトヲ得抗告ハ執行停止ノ效力ヲ有ス  
 同第四十手續ノ費用ハ過料ニ處スル言渡アリタル場合ニ於テハ其言渡ヲ受ケタル者ノ負擔トシ其他ノ場合ニ於テハ國庫ノ負擔トス  
 二 抗告裁判所カ當事者ノ申立ニ相當スル裁判ヲ爲シタルトキハ抗告手續ノ費用及ヒ前審ニ於テ當事者ノ負擔ニ歸シタル費用ハ國庫ノ負擔トス

同 第二百八條 過料ノ裁判ハ檢事ノ命令ヲ以テ之ヲ執行ス此命令ハ執行力ヲ有スル債務名義ト同一ノ效力ヲ有ス

過料ノ裁判ノ執行ハ民事訴訟法第六編ノ規定ニ從ヒテ之ヲ爲ス

但執行ヲ爲ス前裁判ノ送達ヲ爲スコトヲ要セス

(民事訴訟法第六編ハ強制執行ニ關スル規定ナリ)

第五十一條 漁業者又ハ水産動植物ノ製造若ハ販賣ヲ業トスル者ハ水産業ノ改良發達及水産動植物ノ蕃殖保護其ノ他水産業ニ關シ共同ノ利益ヲ圖ル爲水産組合ヲ設クルコトヲ得

第五十二條 水産組合成立シタルトキハ其ノ地區内ニ於テ定款ノ定ムル所ニ依リ組合員タル資格ヲ有スル者ハ總テ其ノ組合ニ加入シタルモノト看做ス  
 但シ主務大臣ニ於テ加入ノ義務ナシト認メタル者ハ此ノ限ニ在ラス

第五十三條 水産組合ハ相互ニ共同シテ其ノ目的ヲ達スル爲水産組合聯合會ヲ設クルコトヲ得

第五十四條 水産組合及水産組合聯合會ハ法人トシ重要物産同業組合法ヲ準用ス

第五十五條 漁業ノ免許若ハ許可ノ出願又ハ期間更新ノ申請ニ對スル許否ニ不服アル者及第三條第二項、第二十二條、第二十四條、第二十五條若ハ第三十七條第二項ノ規定ニ依ル處分ニ不服アル者ハ訴願ヲ提起シ違法ニ權利ヲ傷害セラレタリトスルトキハ行政訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第五十六條 漁場ノ區域、漁業權若ハ入漁權ノ範圍又ハ漁業ノ方法ニ付漁業者ノ間ニ爭アルトキハ關係者ヨリ行政官廳ニ之ニ關スル裁決ヲ申請スルコトヲ得

前項ノ裁決ニ不服アル者ハ訴願ヲ提起シ違法ニ權利ヲ傷害セラレタリトスルトキハ行政訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第五十七條 民事又ハ刑事ノ訴訟ニ付前條ノ規定ニ依ル裁決又ハ判決ヲ待ツノ必要アル場合ニ於テハ裁判所ハ其ノ訴訟手續ヲ中止スルコトヲ得

第五十八條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス

- 一、免許ニ依ラス若ハ漁業ノ停止中第四條又ハ第六條ノ漁業ヲ爲シタル者
- 二、免許漁業ノ制限又ハ免許ノ條件若ハ制限ニ違反シテ漁業ヲ爲シタル者
- 三、專用漁業ノ停止中其ノ漁場ニ於テ停止シタル漁業ヲ爲シタル者

前項ノ場合ニ於テハ犯人ノ所有シ又ハ所持スル漁獲物、製品及漁具ハ之ヲ沒收スルコトヲ得

但シ犯人ノ所有シタル前記物件ノ全部又ハ一部ヲ沒收スルコト能ハサルトキハ其ノ價額ヲ追徴スルコトヲ得

第五十九條 汽船「トロール」漁業又ハ母船式漁業ニ關シ第三十五條第一項ノ規定、同條第二項ノ制限若ハ禁止ニ違反シタル者ハ五千圓以下ノ罰金、汽船捕鯨業又ハ機船底曳網漁業ニ關シ同條第一項ノ規定、同條第二項ノ制限若ハ禁止又ハ第三十六條ノ規定ニ違反シタル者ハ貳千圓以下ノ罰金ニ處ス此ノ場合ニ於テハ犯人ノ所有シ又ハ所持スル漁獲物、製品及漁具ハ之ヲ沒收スルコトヲ得

但シ犯人ノ所有シタル前記物件ノ全部又ハ一部ヲ沒收スルコト能ハサルトキハ其ノ價額ヲ追徴スルコトヲ得

第六十條 漁業權又ハ漁業組合員ノ漁業ヲ爲スノ權利ヲ侵害シタル者ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

前項ノ罪ハ告訴ヲ待テ之ヲ論ス

漁業法

二二二

第六十一條 漁場又ハ漁具ノ標識ヲ移轉シ、汚損シ又ハ毀壞シタル者ハ五拾圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

第六十二條 第四十一條ノ規定ニ依ル職務ノ執行ヲ拒ミ若ハ妨ケタル者及臨檢捜索ノ際當該吏員ノ訊問ニ對シ答辯ヲ爲サス若ハ虚偽ノ陳述ヲ爲シタル者ハ參百圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

第六十三條 營業者未成年者又ハ禁治產者ナルトキハ本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ依リ之ニ適用スヘキ罰則ハ之ヲ法定代理人ニ適用ス

但シ營業ニ關シ成年者ト同一ノ能力ヲ有スル未成年者ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第六十四條 營業者ハ其ノ代理人、戶主、家族、同居者、雇人其ノ他ノ從業者ニシテ其ノ業務ニ關シ本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ違反シタルトキハ自己ノ指揮ニ出テサルノ故ヲ以テ其ノ處罰ヲ免カルルコトヲ得ス

第六十五條 明治三十三年法律第五十二號本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ依ル犯罪ニ之ヲ準用ス

明治三十三年法律第五十二號

第一條 法人ノ代表者又ハ其ノ雇人其ノ他ノ從業者法人ノ業務ニ關シ租稅「及葉煙草專賣」ニ關スル法規ヲ犯シタル場合ニ於テハ各法規ニ規定シタル罰則ヲ法人ニ適用ス

但シ其ノ罰則ニ於テ罰金科料以外ノ刑ニ處スヘキコトヲ規定シタルトキハ法人ヲ參百圓以下ノ罰金ニ處ス

第二條 法人ヲ處罰スヘキ場合ニ於テハ法人ノ代表者ヲ以テ被告人トス

第三條 法人ヲ處罰スルノ裁判確定シタル日ヨリ罰金ニ關シテハ一月以内科料ニ關シテハ十日以内ニ之ヲ完納セサルトキハ民事訴訟法第六編ノ規定ニ從ヒテ其ノ執行ヲ爲ス此ノ場合ニ於テハ檢事ノ命令ヲ以テ執行力ヲ有スル債務名義ト同一ノ效力アルモノトス

前項ニ依リ執行ヲ爲スニハ執行前裁判ノ送達ヲ爲スコトヲ要セス

第六十六條 本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第六十七條 本法ハ臘虎及臘肭獸ノ漁獵ニ之ヲ適用セス

漁業法

二二三

漁業法

二四

- 第六十八條 本法施行前ノ漁業ニ關スル出願ニシテ未タ處分ヲ終ラサルモノニ關シテハ仍從前ノ例ニ依ル
- 第六十九條 舊法ニ依リ發生シタル漁業權ハ本法施行ノ日ヨリ本法ニ定メタル效力ヲ有ス
- 但シ其ノ存續期間ハ發生ノ時ヨリ起算ス
- 本法施行前ニ發生シタル入漁權ニ關シ亦前項ニ同シ
- 第七十條 本法施行前免許漁業原簿ニ登錄シタル事項ハ本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ依リ登錄スルコトヲ得ヘキモノニ限り之ニ依リ登錄シタルモノト看做ス
- 第七十一條 舊法施行前ノ契約又ハ慣行ニ依リテ入漁スルノ權利ハ專用漁業免許後一年間ニ限り登錄ナキモ之ヲ以テ第三者ニ對抗スルコトヲ得
- 七十二條 本法施行前ニ爲シタル處分又ハ第六十八條ノ規定ニ依リ爲シタル處分ニ對スル裁決ノ申請、訴願又ハ行政訴訟ニ關シテハ仍從前ノ例ニ依ル
- 第七十三條 舊法ニ依リ設ケタル漁業組合ハ本法施行後一年間ニ限り登記ナキモ其ノ設立ヲ以テ第三者ニ對抗スルコトヲ得

附 則 (昭和八年法律第三十三號)

- 第一條 本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム
- 第二條 本法施行前ヨリ引續キ第四十三條ノ二第一項第三號又ハ第四號ノ事業ヲ行フ漁業組合ハ本法施行ノ日ヨリ五年ヲ限り其ノ組織ニ關シ第四十三條ノ五ノ規定ニ依ラス仍從前ノ規定ニ依ルコトヲ得
- 第三條 本法施行前ニ設立シタル漁業組合聯合會ハ本法施行ノ日ヨリ五年ヲ限り其ノ構成者及組織ニ關シ第四十四條第三項及第四項ノ規定ニ依ラス仍從前ノ規定ニ依ルコトヲ得
- 前項ノ聯合會ニシテ前項ノ期間内ニ其ノ構成者及組織ニ關シ第四十四條第三項及第四項ノ規定ニ依ル聯合會ト爲ラザルモノハ其ノ期間滿了ノ日ニ於テ解散ス
- 第四條 印紙稅法第四條第一項第十一號中「産業組合聯合會」ノ下ニ「漁業組合、漁業組合聯合會」ヲ加フ
- 印紙稅法第四條 左ニ掲クル證書帳簿ニ關シテハ證書ハ一通毎ニ帳簿ハ一册一年以内ノ附込ニ對シ左ノ印紙稅ヲ納ムヘシ

漁業法

二五

十一、産業組合聯合會、工業組合、工業組合聯合會、商業組合、商業組合聯合會、輸出組合又ハ輸出組合聯合會ノ發スル出資證券

參 錢

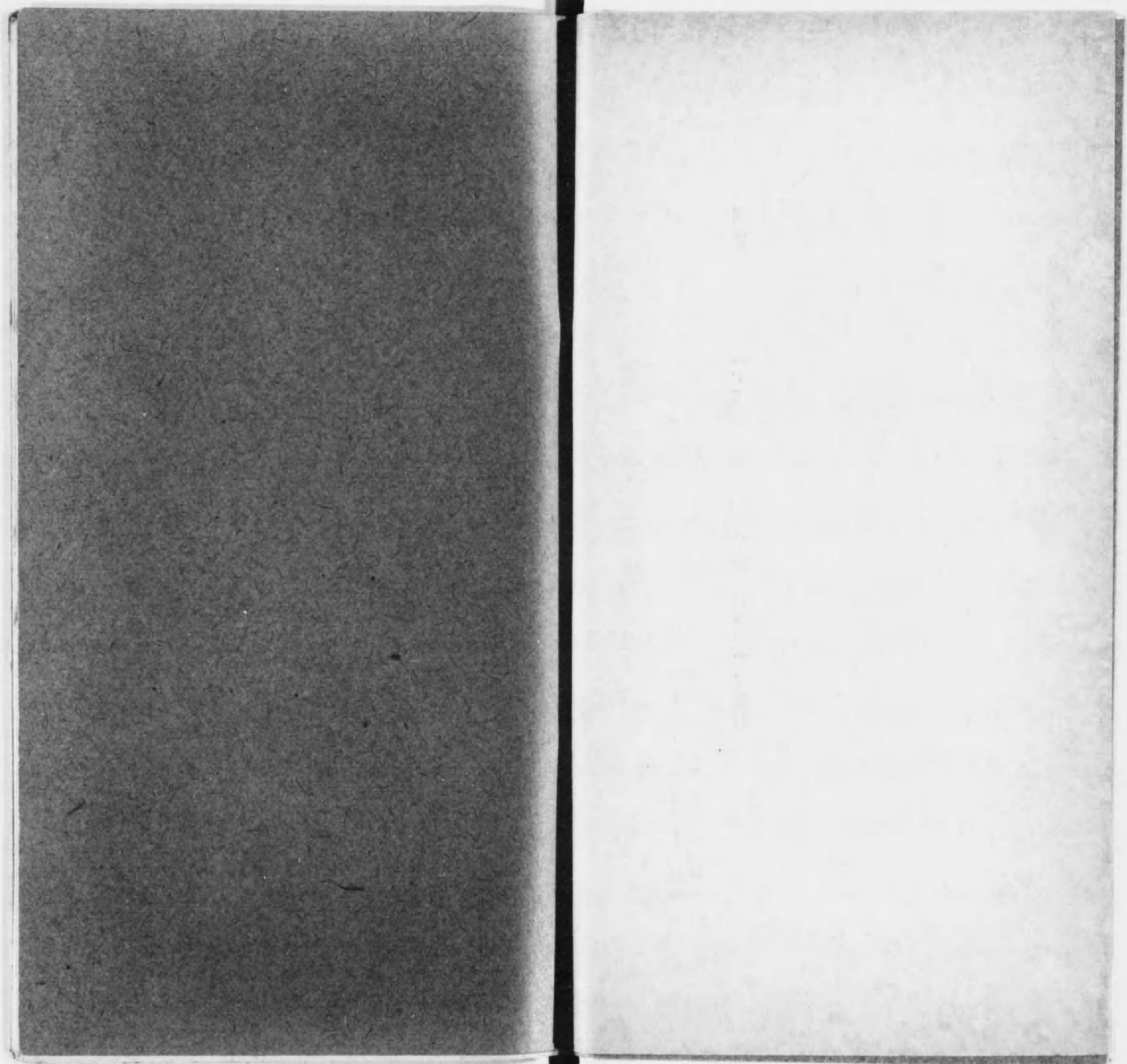
（以下は、本頁の下部に記述されているが、文字が非常に小さく、詳細な内容は読み取れない。概して、産業組合の組織や運営に関する規定と思われる。）

漁業法中改正法律施行期日ノ件

〔昭和九年七月二十五日  
勅令 第二百三十一號〕

昭和八年法律第三十三號ハ昭和九年八月一日ヨリ之ヲ施行ス

漁業法中改正法律施行期日ノ件



## 漁業法施行規則

明治四十三年十一月十二日  
農商務省令第二十五號  
大正十五年六月二十三日  
農林省令第十四號改正

### 第一章 總則

第一條 漁業ニ關スル出願、申請及届出ハ漁場ヲ管轄スル地方長官ニ之ヲ爲スヘシ

但シ左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ農林大臣ニ之ヲ爲スヘシ

一、專用漁業ニ關スルトキ

二、入漁權ニ關スルトキ

三、二以上ノ地方長官ノ管轄ニ屬スル漁場ニ於ケル漁業ニ關スルトキ

四、漁場ヲ管轄スル地方長官明確ナラサル漁業ニ關スルトキ

前項第三號又ハ第四號ニ該當スル場合ニ於テハ農林大臣ハ管轄地方長官ヲ指定

漁業法施行規則

漁業法施行規則

三〇

スルコトヲ得農林大臣ノ處分ヲ爲シタルモノニ付亦同シ

第二條 農林大臣ニ出願、申請又ハ届出ヲ爲サムトスルトキハ漁場ヲ管轄スル地方長官ヲ經由スヘシ

但シ漁場ヲ管轄スル地方長官明確ナラサルトキハ住所地ノ地方長官ヲ經由スヘシ

第三條 漁業ニ關スル行政行爲ニ付テハ關係地方長官ハ交互ニ補助スルモノトス

第四條 行政官廳ニ於テ必要ト認ムルトキハ出願、申請又ハ届出ヲ爲シタル者、漁業權者、入漁權者其ノ他漁業ニ關シ利害ノ關係ヲ有スル者ニ對シ書類ノ提出、訂正若ハ補充又ハ物件ノ提出ヲ命スルコトヲ得

第五條 住所又ハ居所ノ不分明其ノ他ノ事由ニ依リ書類ノ送付ヲ爲スコト能ハサルトキハ行政官廳ハ其ノ事由及書類ノ要領ヲ公告スヘシ此ノ場合ニ於テハ公告ノ終リタル日ヨリ起算シテ三十日ヲ經過シタルトキハ其ノ末日ニ於テ書類ノ送付アリタルモノト看做ス

第六條 本則ニ依リ行政官廳ノ爲スヘキ公告ハ慣行ノ公布式ニ依ルモノトス

第七條 漁業法第三條第二項ノ水面ノ占有者又ハ其ノ敷地ノ所有者ニシテ同條ノ

許可ヲ受ケムトスルトキハ其ノ水面又ハ敷地ヲ管轄スル地方長官ニ之ヲ出願スヘシ願書ニハ左ニ掲クル書面ヲ添附スヘシ

一、許可ヲ受ケムトスル事由書

二、占有者又ハ所有者タルコトヲ證スヘキ書面

三、許可ヲ受ケムトスル區域ノ圖面

四、漁業權ノ設定アルトキハ其ノ漁業權者及登録シタル權利者ノ同意書若シ其ノ同意ヲ得ルコト能ハサルトキハ其ノ事由書

第八條 前條ノ出願ヲ許可シタルトキハ地方長官ハ之ヲ公告シ若シ漁業權者其ノ他登録シタル權利者アルトキハ之ヲ通知スヘシ

第九條 地方長官ハ漁業法第三條第二項ノ許可ヲ受ケタル者ニ對シ其ノ許可シタル區域ノ標識ノ建設ヲ命スルコトヲ得

第二章 漁業ノ免許

第十條 本則ニ於テ免許漁業ト稱スルハ定置漁業、區劃漁業、専用漁業及特別漁業ヲ謂フ

漁業法施行規則

三一

漁業法施行規則

三二

第十一條 本則ニ於テ定置漁業ト稱スルハ漁具ヲ定置シテ爲ス漁業ヲ謂ヒ、區劃漁業ト稱スルハ水面ヲ區劃シテ爲ス漁業ヲ謂ヒ、專用漁業ト稱スルハ他ノ免許漁業ニ該當セスシテ水面ヲ専用シテ爲ス漁業ヲ謂ヒ、特別漁業ト稱スルハ第十四條各號掲クル漁業ヲ謂フ

第十二條 定置漁業ノ種類左ノ如シ

- 一、臺網類漁業 敷網及垣網又ハ敷網土俵若ハ碇等ヲ以テ一定ノ水面ニ敷設スルモノ
- 二、落網類漁業 落網、上網及垣網ヲ土俵若ハ碇等ヲ以テ一定ノ水面ニ敷設スルモノ
- 三、枴網類漁業 側網及垣網ヲ碇、土俵若ハ支柱等ヲ以テ一定ノ水面ニ敷設スルモノ
- 四、建網類漁業 曲網及垣網又ハ刺網ヲ一定ノ水面ニ敷設スルモノ
- 五、出網類漁業 垣網ヲ土俵若ハ碇等ヲ以テ一定ノ水面ニ敷設スルモノ
- 六、張網類漁業 囊網又ハ立廻網ヲ支柱若ハ碇等ヲ以テ一定ノ水面ニ建設若ハ敷

設スルモノ

七、臥築類漁業 一定ノ水面ニ支柱ヲ以テ養若ハ網ヲ建設シ又ハ竹、木、石堤等ヲ建設シテ陷穽ノ裝置若ハ魚堰ヲ設クルモノ

第十三條 區劃漁業ノ種類左ノ如シ

- 一、第一種 一定ノ區域内ニ於テ瓦、石、竹、木等ヲ沈設シ又ハ筵ヲ建設シテ爲ス養殖業
  - 二、第二種 土、石、竹、木等ノ圍障ニ依リ限界セラレタル一定ノ區域内ニ於テ爲ス養殖業
  - 三、第三種 前二號ノ外一定ノ區域内ニ於テ爲ス養殖業
- 第十四條 左ニ掲クル漁業ハ行政官廳ノ免許ヲ受クヘシ
- 一、第一種 一定ノ網場又ハ捕獲場ヲ有スル鯨漁業
  - 二、第二種 一定ノ迫込場ヲ有スル海豚漁業
  - 三、第三種 一定ノ曳揚場ヲ有スル地曳網、地漕網漁業
  - 四、第四種 一定ノ曳寄場ヲ有スル船曳網漁業

漁業法施行規則

三三

漁業法施行規則

三四

- 五、第五種 一定ノ網場ヲ有スル囊待網漁業
  - 六、第六種 一定ノ網場ヲ有スル敷網漁業
  - 七、第七種 一定ノ水面ニ於テ飼付ヲ爲ス漁業
  - 八、第八種 一定ノ水面ニ漬場ヲ設クル鱈漁業
  - 九、第九種 一定ノ水面ニ築磯ヲ設クル漁業
- 第十五條 前三條ニ該當スル免許漁業ノ名稱ハ農林大臣別ニ之ヲ告示ス
- 第十六條 左ノ區域ヲ以テ免許漁業ノ漁場トス
- 一、定置漁業ニ在リテハ漁具ヲ建設シ又ハ敷設スル區域
  - 二、區劃漁業ニ在リテハ養殖ヲ爲ス區域
  - 三、専用漁業ニ在リテハ専用スル區域
  - 四、特別漁業中第一種ニ在リテハ網場又ハ捕獲場ノ區域、第二種ニ在リテハ迫込場ノ區域、第三種及第四種ニ在リテハ網ノ使用區域、第五種及第六種ニ在リテハ網場ノ區域、第七種ニ在リテハ飼付ヲ爲ス區域、第八種ニ在リテハ漬場ノ區域、第九種ニ在リテハ築磯ノ區域

第十七條 水産動植物ノ蕃殖保護其ノ他公益上必要アリト認ムルトキ又ハ漁業値ナシト認ムルトキハ漁業ノ免許ヲ與ヘス

漁業權者及登録シタル權利者ノ同意アル場合ヲ除クノ外既ニ免許ヲ與ヘタル漁業ト相容レスト認ムルトキ亦前項ニ同シ

前項ノ規定ハ漁業權ノ存續期間ヲ更新スル場合ニ之ヲ適用セス

第十八條 漁業ノ免許ハ市、町、村、町村組合及市町村内ノ獨立シタル區ニ之ヲ與ヘス

但シ漁業權ノ存續期間ヲ更新スル場合ハ此ノ限ニ在ラス

前項ノ規定ハ北海道、沖繩縣並沖繩縣及島嶼町村制ヲ施行シタル島嶼ノ區又ハ町村内ノ一部ニ之ヲ適用ス

第十九條 第十七條第一項及第二項ノ規定ハ漁業權變更ノ許可ノ出願ニ之ヲ準用ス

第二十條 從來ノ慣行ニ因ル専用漁業權者ハ其ノ漁業ノ種類ヲ増加シ又ハ漁場ノ區域ヲ擴張スル變更ノ許可ヲ出願スルコトヲ得ス

第二十一條 地勢上漁業組合毎ニ其ノ地先水面ヲ區分スルコト能ハサルトキ又ハ其ノ

漁業法施行規則

三五

漁業法施行規則

三六

區分カ著シク困難ナルトキハ關係漁業組合ハ共同シテ其ノ地先水面ノ專用ヲ出願スルコトヲ得

第二十二條 漁業ノ免許ヲ受ケムトスルトキハ專用漁業ニ在リテハ漁場毎ニ、其ノ他ノ免許漁業ニ在リテハ漁業ノ名稱及漁場毎ニ願書ニ通ヲ作り之ヲ出願スヘシ  
願書ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

一、專用漁業ニ在リテハ漁具ノ種類又ハ漁業ノ方法、其ノ他ノ免許漁業ニ在リテハ漁業ノ種類及名稱

二、漁獲物ノ種類

三、漁業時期

四、漁業權存續期間

第二十三條 前條ノ願書ニハ漁場ノ位置及區域ヲ記載シタル漁場圖ニ通ヲ添附スヘシ  
前項ノ記載事項ノ外定置漁業ノ漁場圖ニハ漁具ノ建設又ハ敷設ノ形狀ヲ、區劃漁業ノ漁場圖ニハ漁場ノ面積ヲ記載スヘシ

第二十四條 免許ヲ受ケムトスル漁場ノ敷地カ他人ノ所有ニ屬スルトキ又ハ水面カ他

人ノ占有ニ係ルトキハ其ノ所有者又ハ占有者ノ同意ヲ證スル書面ヲ漁業ノ免許ノ願書ニ添附スヘシ

第二十五條 二人以上共同シテ漁業ノ免許ヲ受ケムトスルトキハ内一人ヲ選定シテ代表者ト爲シ之ヲ行政官廳ニ届出テ又ハ出願ノ書面ニ記載スヘシ

前項ノ規定ニ依リ代表者ノ届出又ハ記載ナキトキハ行政官廳ハ代表者ヲ指定スヘシ

第二十六條 代表者ハ共同者全員ノ三分ノ二以上ノ同意ヲ以テ之ヲ變更スルコトヲ得

代表者ニ變更アリタルトキハ行政官廳ニ之ヲ届出ツヘシ  
代表者ノ變更ハ前項ノ届出ヲ爲スニ非サレハ之ヲ以テ行政官廳ニ對抗スルコトヲ得ス

第二十七條 前二條ノ規定ハ二人以上共同シテ漁業權又ハ之ヲ目的トスル權利若ハ入漁權ヲ取得シタル者ニ之ヲ準用ス

第二十八條 代表者ハ行政官廳ニ對シ共同者ヲ代表ス

第二十五條及第二十六條ノ規定ニ依リ代表者ハ免許ヲ受ケタル漁業權ニ付其ノ共同者ヲ代表スル者ト看做ス

漁業法施行規則

三七

漁業法施行規則

第二十九條 漁業ノ免許ヲ與ヘタルトキハ左ノ事項ヲ公告スヘシ

- 一、免許ノ番號
  - 二、免許ノ年月日
  - 三、漁業權者又ハ代表者ノ氏名若ハ名稱及住所
  - 四、漁場ノ位置
  - 五、漁場ノ種類及名稱
  - 六、漁獲物ノ種類
  - 七、漁業ノ時期
  - 八、漁業權ノ存續期間
  - 九、免許ニ條件又ハ制限ヲ附シタルトキハ其ノ事項
- 第三十條 漁業權ノ分割其ノ他ノ變更ノ許可ヲ受ケントスルトキハ願書二通ヲ作り免許ヲ受ケタル行政官廳ニ之ヲ出願スヘシ若シ登録シタル權利者アルトキハ其ノ同意ヲ證スル書面ヲ、其ノ出願カ漁業權ノ分割又ハ漁場區域ノ變更ニ係ルトキハ尙其ノ分割又ハ變更スル漁場ノ漁場圖二通ヲ添附スヘシ

第二十三條ノ規定ハ前項ノ漁場圖ニ之ヲ準用ス

第三十一條 漁業權存續期間更新ノ免許ヲ受ケムトスルトキハ更新期間ヲ定メ申請書

二通ヲ作り存續期間滿了ノ日ヨリ少クトモ三月前ニ之ヲ申請スヘシ

第二十四條ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

但シ慣行ニ因リ免許ヲ受ケタル漁業權ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第三十二條 漁業權ノ分割其ノ他ノ變更ヲ許可シタルトキ又ハ漁業權存續期間ノ更新

ヲ免許シタルトキハ之ヲ公告スヘシ

第三十三條 漁業ノ免許ヲ取消シ、免許シタル漁業ヲ制限若ハ停止シ又ハ其ノ處分ヲ

變更若ハ取消シタルトキハ當該官廳ハ之ヲ公告シ且遲滯ナル登録シタル權利者ニ通

知スヘシ

但シ地方長官ノ免許シタル漁業ニ關シ農林大臣ノ爲シタル處分ノ通知ハ地方長官之

ヲ爲スヘシ

第三十四條 漁業法第二十五條ノ規定ニ依リ地方長官漁業ノ免許ヲ取消サムトスルト

キハ農林大臣ノ認可ヲ受クヘシ

漁業法施行規則

漁業法施行規則

四〇

第三十五條 漁業法第十條第二項ノ認可ヲ受ケムトスルトキハ其ノ事由ヲ具シ免許ヲ受ケタル行政官廳ニ之ヲ申請スヘシ  
前項ノ場合ニ於テ漁業權者カ其ノ持分ノ處分ヲ爲ストキハ他ノ共有者ノ同意ヲ證スル書面ヲ、拋棄ヲ爲ストキハ登録シタル權利者ノ同意ヲ證スル書面ヲ申請書ニ添付スヘシ

第三十六條 免許漁業ニ付休業ノ認可ヲ受ケムトスルトキハ休業期間ヲ定メ其ノ事由ヲ具シ免許ヲ受ケタル行政官廳ニ之ヲ申請スヘシ  
前項ノ認可ヲ受ケタル者漁業ヲ爲スニ至リタルトキハ遲滞ナク之ヲ届出ツヘシ休業認可ノ期間内漁業ヲ爲シタルトキハ爾後認可ノ效力ヲ失フ  
第三十七條 漁業權ヲ拋棄シタルトキハ免許ヲ受ケタル行政官廳ニ之ヲ届出ツヘシ  
前項ノ届出ニハ登録シタル權利者アルトキハ其同意ヲ證スル書面ヲ添付スヘシ  
第一項ノ届出アリタルトキハ行政官廳ハ之ヲ公告スヘシ

第三章 土地ノ使用

第三十八條 漁業法第二十九條ノ許可ヲ受ケムトスルトキハ左ニ掲クル事項ヲ記載シ

タル願書ニ圖面ヲ添へ行政官廳ニ之ヲ出願スヘシ

一、土地ノ使用ニ付テハ其ノ所在、地番、種目及面積、所有者及占有者ノ氏名又ハ名稱及住所、使用ノ目的、時期及期間  
二、立木竹若ハ土石ノ除去ノ制限ニ付テハ其ノ種類、存在ノ場所、所有者及占有者ノ氏名又ハ名稱及住所、使用ノ目的及期間  
第三十九條 前條ノ出願ヲ許可シタルトキハ行政官廳ハ所有者及占有者ニ之ヲ通知シ且公告スヘシ

第四十條 漁業權者ニ對シテ爲シタル漁業法第二十九條乃至第三十一條ノ許可ハ其ノ承繼人及其ノ漁業權ニ依リ漁業ヲ爲ス權利ヲ有スル者ノ爲メニモ効力ヲ有ス  
第四十一條 漁業法第三十條ノ許可ヲ受ケムトスルトキハ土地ノ所在、地番、種目、面積及現況、所有者及占有者ノ氏名又ハ名稱及住所、使所ノ時期及期間ヲ記載シタル願書ニ圖面ヲ添へ行政官廳ニ之ヲ出願スヘシ  
第四十二條 第三十八條及第四十一條ノ行政官廳ハ土地又ハ立木竹若ハ土石ノ所在地ヲ管轄スル地方長官トス

漁業法施行規則

四一

漁業法施行規則

四二

但シ土地又ハ立木竹若ハ土石ノ所在地ト漁場トヲ管轄スル地方長官異ナルトキ又ハ漁場ヲ管轄スル地方長官明確ナラサル漁業ノ爲ナルトキハ之ヲ農林大臣トス

前項但書ノ場合ニ於テハ農林大臣ハ管轄地方長官ヲ指定スルコトヲ得

第四十三條 漁業法第三十一條ノ許可ヲ受ケムトスルトキハ土地又ハ支障木竹若ハ障

碍物ノ所在地ヲ管轄スル警察官署ニ之ヲ出願スヘシ

第四十四條 漁業法第三十一條ノ規定ニ依リ他人ノ土地ニ立入り又ハ支障木竹ヲ伐採

シ若ハ障害物ヲ除去セムトスル者ハ當該官廳ノ許可證ヲ携帶スヘシ

第四章 蕃殖保護及漁業取締

第四十五條 漁業法第三十四條ニ依ル命令ハ官廳又ハ公署ニ於テ調査又ハ試驗ヲ爲ス

場合ニ之ヲ適用セス養殖、學術、研究其ノ他特別ノ理由ニ依リ行政官廳ノ許可ヲ受

ケタル場合亦同シ

第四十六條 水産動物ヲ疲憊又ハ斃死セシムヘキ有毒物ヲ使用シテ水産動物ヲ採

捕スルコトヲ得ス

第四十七條 漁業法第三十六條又ハ前條ノ規定ヲ犯シ採捕シタル水産動物ハ之ヲ所

持又ハ販賣スルコトヲ得ス

第四十八條 週河魚類ノ通路ヲ遮斷シテ漁業ヲ爲ストキハ地方長官ノ定ムル所ニ依リ

魚道ヲ開通スヘシ

第四十九條 行政官廳ハ漁業取締ノ爲定置漁業及特別漁業ニ付命令ヲ以テ保護區域ヲ

設ケルコトヲ得

保護區域ヲ設ケルトキハ其ノ漁業ノ妨害ト爲ルヘキ漁業ノ制限若ハ禁止ニ付規定ヲ

設ケヘシ

第五十條 左ニ掲ケル漁業ハ地方長官ノ許可ヲ受ケルニ非サレハ之ヲ爲スコトヲ得

一、藻手繰網漁業

二、藻漕網漁業

三、藻打瀬網漁業

四、藻曳網漁業

五、潛水器漁業

漁業法施行規則

四三

漁業法施行規則

四四

六、空釣、繩漁業

前項ノ漁業ノ地方名稱ハ地方長官之ヲ公示スヘシ

地方長官第一項ノ漁業ヲ許可シタルトキハ鑑札ヲ下付スヘシ

第五十一條 前條ノ漁業者漁業ヲ爲ストキハ鑑札ヲ携帯スヘシ

第五十二條 地方長官禁漁區ヲ設ケタルトキハ適當ノ場所ニ其ノ標識ヲ建設スヘシ

第五十三條 漁場標識ヲ建設シタルトキハ其ノ漁場標識タルコトヲ明示スヘシ

第五十四條 臨檢、搜索及差押ニ關シテハ間接國稅犯則者處分法施行規則第二條乃至

第五條、第八條及第十二條ノ規定ヲ準用ス

間接國稅犯則者處分法施行規則第二條 收稅官吏物件、帳簿書類等ヲ差押ヘタル場

合ニ於テ所有者、所持者又ハ市町村ヲシテ保管セシムルトキハ之ニ封印ヲ爲シ若

シテ其ノ他ノ方法ヲ以テ差押ヲ明白ニスヘシ

同 第三條 差押目錄ニハ物件ノ品名、數量、帳簿、書類ノ名稱、箇數、差押ノ場

所及時、所持者ノ住所又ハ居所氏名ヲ記載スヘシ

同 第四條 收稅官吏物件、帳簿、書類等ヲ差押ヘタル場合ニ於テ之ヲ官廳又ハ市

町村ニ送致スルトキハ差押目錄ノ謄本ヲ其ノ所持者ニ交付スヘシ

同 第五條 收稅官吏市町村ヲシテ差押物件ノ保管ヲ爲サシムルトキハ其ノ旨ヲ差

押當時ノ所持者ニ通知スヘシ

同 第八條 收稅官吏臨檢搜索尋問又ハ差押ヲ爲シタルトキ調製スル願末書ニハ臨

檢、搜索、尋問又ハ差押ノ事實場所及時並供述ノ要領ヲ記載スヘシ

同 第十二條 犯則事件ノ調査及處分ニ關スル書類ニハ每葉契印スヘシ文字ノ挿入

削除又ハ欄外ノ記入ヲ爲シタルトキハ之ニ認印スヘシ

文字ヲ削除スルトキハ其ノ字體ヲ存シ置キ其ノ字數ヲ記載スヘシ

第五章 裁 決

第五十五條 漁業法第五十六條第一項ノ裁決ヲ申請セムトスルトキハ漁業權ニ關シテ

ハ漁業ノ免許ヲ與ヘタル行政官廳ニ、入漁權ニ關シテハ農林大臣ニ之ヲ爲スヘシ

但シ關係者ニ免許ヲ與ヘタル行政官廳異ナルトキ又ハ漁業權者、入漁權者間ノ争ニ

關スルトキハ農林大臣ニ之ヲ爲スヘシ

第五十六條 裁決ノ申請書ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

漁業法施行規則

四五

漁業法施行規則

四六

一、申請者及相手方ノ氏名若ハ名稱及住所

二、申請ノ目的及理由

三、立 證

申請書ニハ證據書類ヲ添附スヘシ

第五十七條 申請書ニハ相手方ノ數ニ應シ前條書類ノ副本ヲ添附スヘシ

第五十八條 行政官廳ニ於テ裁決ノ申請書ヲ受理シタルトキハ其ノ副本ヲ相手方ニ送

付シ相當ノ期限ヲ指定シテ答辯書ヲ差出サシムヘシ

第五十九條 裁決ハ文書ヲ以テ之ヲ爲シ其ノ理由ヲ附スヘシ裁決ノ申請ヲ却下スルト

キ亦同シ

第六章 罰 則

第六十條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ三月以下ノ禁錮又ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

一、第四十六條又ハ第四十七條ノ規定ヲ犯シタル者

二、禁漁區内ニ於テ其ノ禁止シタル水産動物ヲ採捕シタル者

前項ノ場合ニ於テハ犯人ノ所有シ又ハ所持スル漁獲物及漁具ハ之ヲ沒收ス

但シ犯人ノ所有シタル前記物件ノ全部又ハ一部ヲ沒收スルコト能ハサルトキハ其ノ價額ヲ追徴ス

第六十一條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ五十圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

一、第四十八條又ハ第五十條第一項ノ規定ヲ犯シタル者

二、禁漁區又ハ第九條ノ標識ヲ移轉シ、汚損シ又ハ毀壞シタル者

第六十二條 第五十一條ノ規定ヲ犯シタル者ハ科料ニ處ス

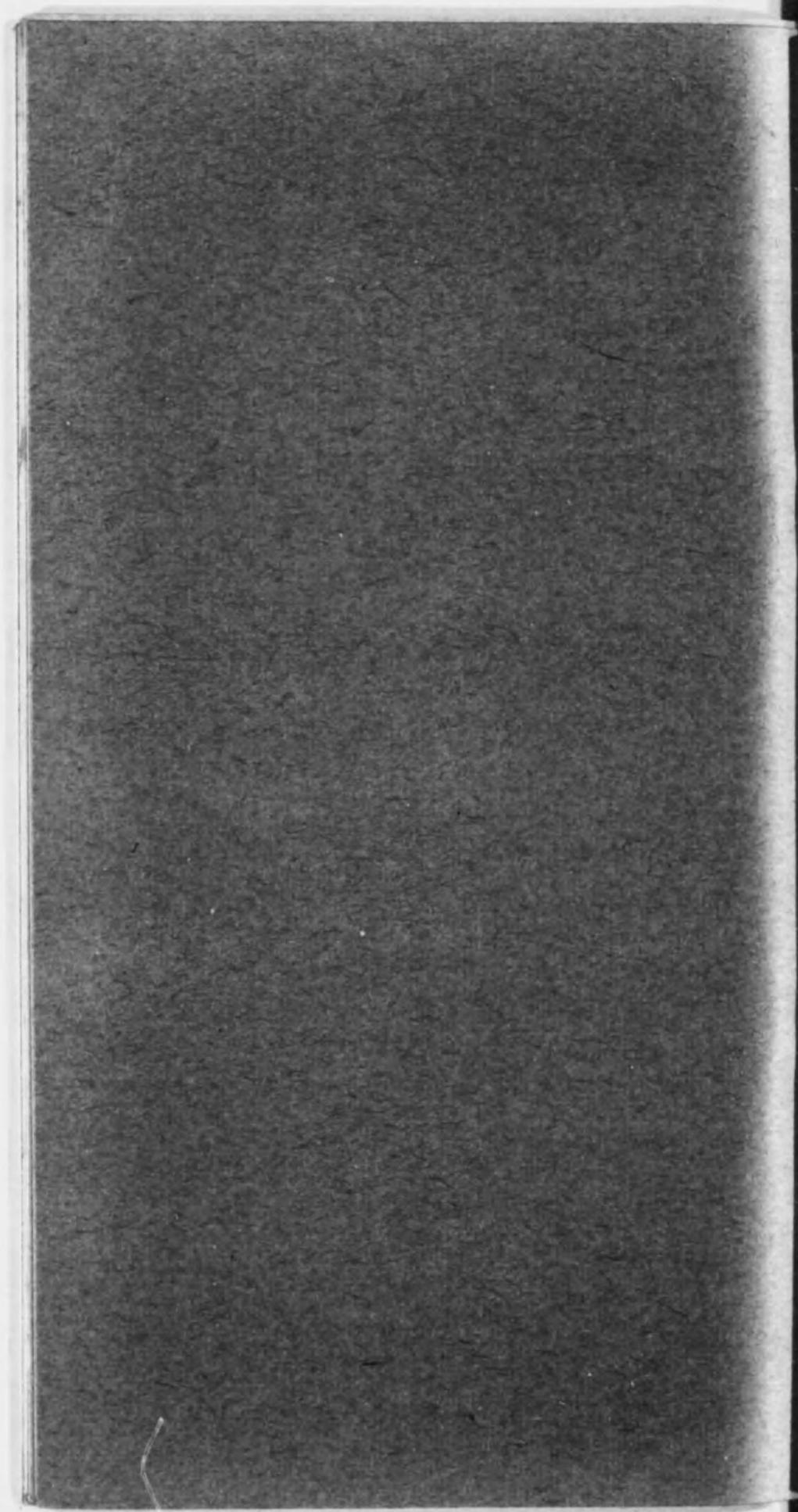
附 則

本令ハ大正十五年七月一日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行前從前ノ規定ニ依リ郡長又ハ島司ニ對シ爲シタル出願ハ本令ニ依リ之ヲ爲シタルモノト看做ス

漁業法施行規則

四七



# 漁業手数料令

明治四十三年十一月十二日  
勅令第四百三十一號  
昭和二年十二月五日  
勅令第三百四十七號改正

第一條 漁業ニ關シ左ニ掲クル出願又ハ申請ヲ爲ス者ハ手数料トシテ下ニ定ムル金額ヲ納ムヘシ

- 一、漁業法第四條又ハ第六條ニ依ル漁業ノ免許願 每一件金六圓
- 二、漁業法第五條ニ依ル漁業ノ免許願 每一件金拾圓
- 三、專用漁業權ノ分割其ノ他ノ變更ノ許可願 每一件金四圓
- 四、專用漁業權以外ノ漁業權ノ分割其ノ他ノ變更ノ許可願 每一件金貳圓五拾錢
- 五、地先水面專用ノ漁業權ノ處分ノ認可申請 每一件金貳圓
- 六、專用漁業權ノ存續期間ノ更新申請 每一件金六圓
- 七、專用漁業權以外ノ漁業權ノ存續期間ノ更新申請 每一件金參圓五拾錢

漁業手数料令

漁業手数料令

五〇

八、免許漁業ノ休業ノ認可申請

每一件金壹圓

九、漁業法第五十六條ニ依ル裁決ノ申請

每一件金五圓

十、免許漁業原簿ノ閲覧ノ申請

每一件金拾錢

十一、免許漁業原簿ノ謄本又ハ抄本下附ノ申請

免許漁業原簿ノ謄本

每一件金壹圓

漁場圖ヲ除キタル免許漁業原簿ノ全部ノ抄本

每一件金五拾錢

漁場圖ヲ除キタル免許漁業原簿ノ一部ノ抄本

每一件金參拾錢

漁場圖ノ謄本

每一件金五拾錢

第二條 手数料ハ收入印紙ヲ願書又ハ申請書ニ貼付シテ之ヲ納ムヘシ

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

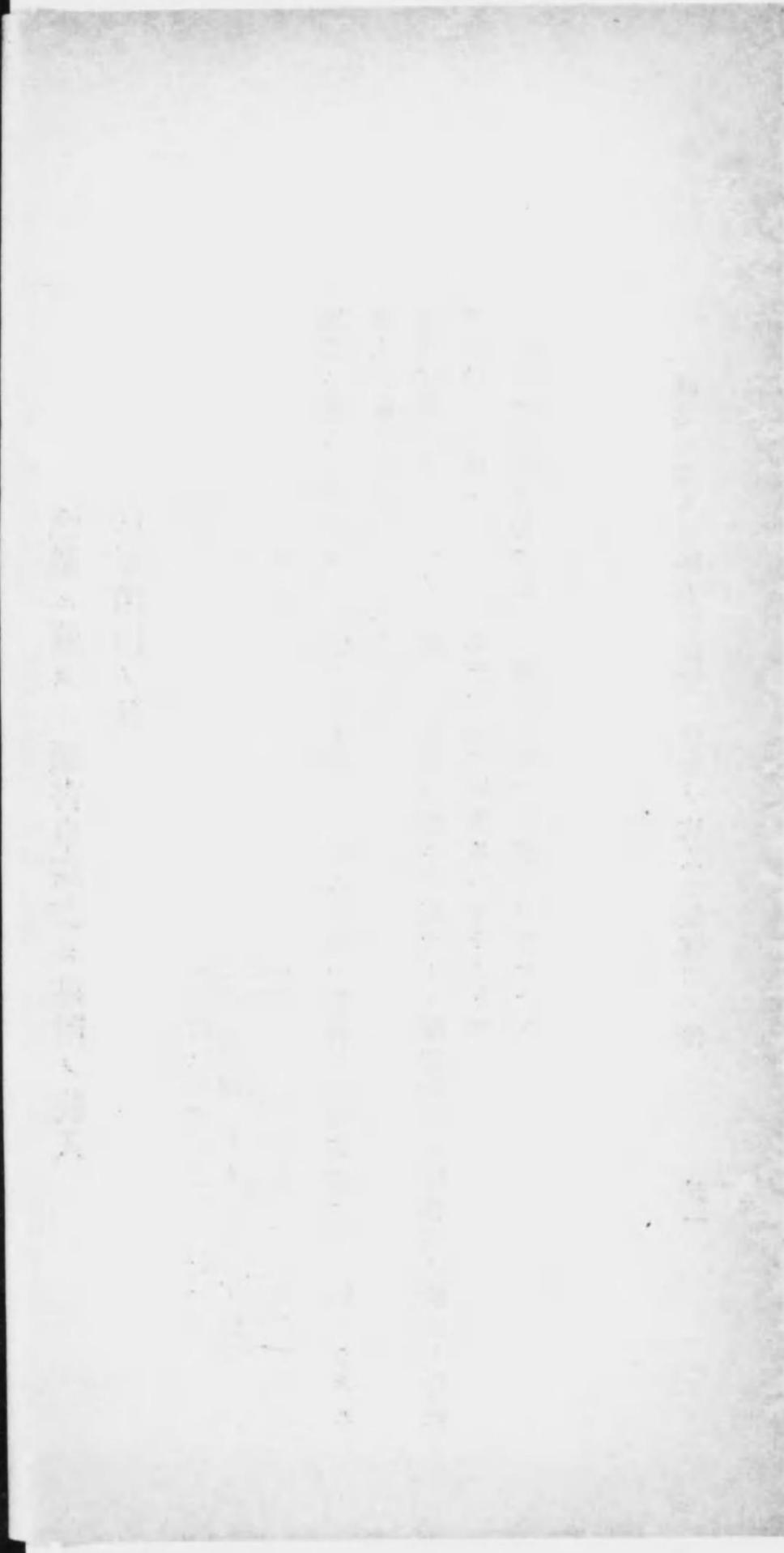
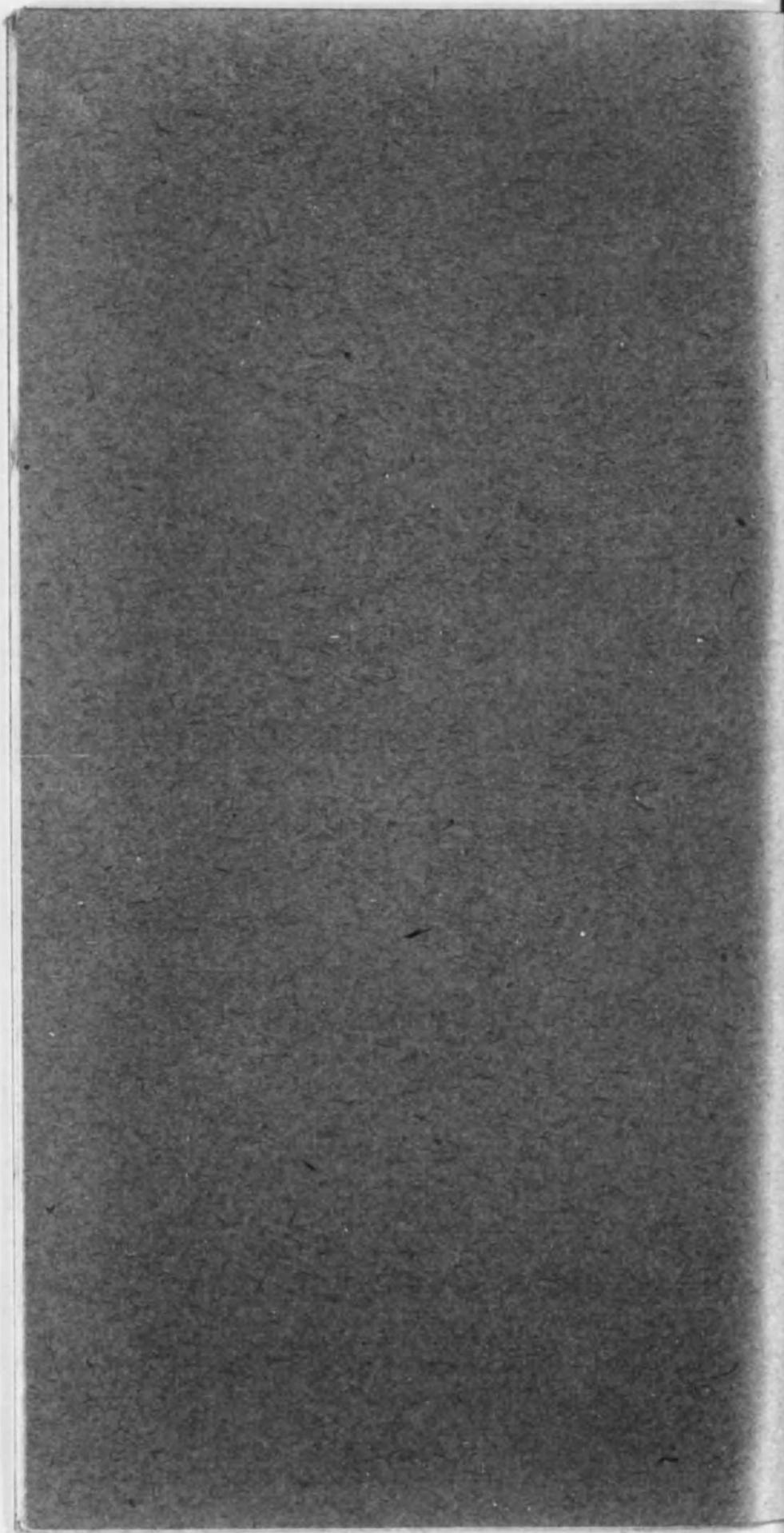
本令施行前ノ出願又ハ申請ノ手数料ニ關シテハ仍從前ノ金額ニ依ル

漁業ニ關スル願書申請書ニ貼附ノ收入  
印紙消印ノ件

明治三十五年十月二十七日  
農商務省令第二十號  
明治四十四年一月  
農商務省令第三號改正

漁業ニ關スル出願又ハ申請ニ付手数料ヲ納ムル者ハ願書又ハ申請書ニ其ノ貼附シタル  
收入印紙ノ額ヲ記入スヘシ  
當該官廳ハ前項貼附ノ印紙ノ手数料金額ニ相當ナルヲ確認シタル後書類ノ紙面ト印紙  
ノ彩紋トニ掛ケ黒肉ヲ用キテ消印ヲ押捺スヘキモノトス  
但シ納付者ニ於テ自己ノ便宜上消印ヲ爲スハ妨ケナシ

漁業ニ關スル願書申請書ニ貼附ノ收入印紙消印ノ件



漁業法施行規則ノ規定ニ該當スル漁業  
ノ名稱ノ件

明治四十四年三月八日  
農務省告示第四百四十八號  
大正六年十二月  
農務省告示第三百四十五號改正

明治四十三年農務省令第二十五號漁業法施行規則第十二條、第十三條及第十四條ニ  
該當スル漁業ノ名稱左ノ如シ

定置漁業

一、臺網類漁業

鯨大敷網

鯨大敷網

鯨臺網一名麻苧臺網

鯨大敷網一名鮪臺網

漁業法施行規則ノ規定ニ該當スル漁業ノ名稱ノ件

漁業法施行規則ノ規定ニ該當スル漁業ノ名稱ノ件

五四

鱈 大 敷 網

鱈 大敷網一名鱈臺網（京都府下及兵庫縣下ノ越中網ヲ含ム）

鱈 臺 網

柔魚 大敷網

前八種以外ノ大敷網（臺網ヲ含ム）

根 拵 網

小臺網一名三艘張根拵網（小臺網ハ神奈川縣下ノ名稱ニシテ改良三艘張網

ヲ含ム三艘張根拵網ハ静岡縣下ノ名稱）

小 敷 網

待網一名額網（鹿兒島縣下川邊郡地方ノ名稱）

大 越 網

小 越 網

取 大 敷 網

鱈 大 敷 網

四艘張網（神奈川縣下及静岡縣下ノ名稱ニシテ神奈川縣下ノ三艘張網ヲ含ム）

二艘張網（静岡縣下ノ名稱）

鯉 張 揚 網

鮪 大謀網一名鮪大網（秋鮪建網及夏鮪建網ヲ含ム）

鮪 大 謀 網

鮭 大 謀 網

前三種以外ノ大謀網（和歌山縣下及三重縣下ノ八角網ヲ含ム）

筒伏網一名鱈建網

鯉 建 網

鯉 角 網 一名鯉建網

鮭 角 網 別 名 鮭 建 網、鮭 起 網

鮭 角 網 一名鮭建網

鱈 角 網 一名鱈建網

漁業法施行規則ノ規定ニ該當スル漁業ノ名稱ノ件

五五

漁業法施行規則ノ規定ニ該當スル漁業ノ名稱ノ件

五六

鯉角網一名鯉建網  
鮪角網一名鮪建網  
鱈角網一名鱈建網  
玉筋魚角網一名玉筋魚建網  
鱧角網一名鱧建網  
柔魚角網一名柔魚建網  
前十種以外ノ角網  
鰾行成網一名鰾建網  
鮠行成網一名鮠建網  
鱈行成網一名鱈建網  
鰺行成網一名鰺建網  
鯉行成網一名鯉建網  
玉筋魚行成網一名玉筋魚建網

柔魚行成網一名柔魚建網  
前八種以外ノ行成網  
鮭金折網  
による網(愛媛縣下及高知縣下ノ名稱)  
鰻網<sub>ノ</sub>戸<sub>ノ</sub>網  
魷網<sub>ノ</sub>戸<sub>ノ</sub>網  
鱈網<sub>ノ</sub>締<sub>ノ</sub>網  
鱈網<sub>ノ</sub>締<sub>ノ</sub>網  
柔魚網<sub>ノ</sub>締<sub>ノ</sub>網  
前三種以外ノ締網  
鰻守<sub>ノ</sub>網  
鰻網(石川縣下ノ名稱)  
河豚てんこ網  
天主張網

漁業法施行規則ノ規定ニ該當スル漁業ノ名稱ノ件  
五七

漁業法施行規則ノ規定ニ該當スル漁業ノ名稱ノ件

二、落網類<sup>フトラシ</sup>漁業

鯨瓢網一名鯨小臺網

鯨瓢網

鯨瓢網

鯨瓢網

鯨瓢網

鯨瓢網

鯨瓢網

柔魚瓢網

前八種以外ノ瓢網別名猪口網

小臺網、もつたれ網（新潟縣下ノ小敷網ヲ含ム）

鯨落網（鳥取縣下ニテ鯨笠<sup>クワ</sup>ト稱ス）

柔魚落網

前二種以外ノ落網（京都府下ノ落網附締網及福井縣下ノ地獄網ヲ含ム）

鯨器械網

鯨傘網

三、枴網類漁業

鯛枴網

鱈枴網

鯖枴網

鱈枴網

鯨枴網

前五種以外ノ枴網

沖建網（福岡縣下及大分縣下ノ名稱）

角建網（愛知縣下ノ名稱）

あ、い、ご建網

壺網一名底囊網

漁業法施行規則ノ規定ニ該當スル漁業ノ名稱ノ件

漁業法施行規則ノ規定ニ該當スル漁業ノ名稱ノ件

六〇

張網（兵庫縣下ノ名稱ニシテ三重縣下ノ戻網ヲ含ム）  
モシリ

四、建網類漁業

烏賊<sup>イダリ</sup>曲網

鱒曲網

鱒<sup>イサキ</sup>曲網

前三種以外ノ曲網

鯽建網

鯽建網（京都府下ノ鯽張網ヲ含ム）

鯖建網

いさき建網

鱈建網

にべ建網

鯉建網

めぢか建網一名小前網

魷建網

前九種以外ノ建網

鮭建網（竿ヲ張リタル刺網）

鯽刺網一名鯽底打網

鯉刺網一名鯉配網

鱒刺網一名鱒ノ塔

やまとみづん切網

五、出網類漁業

鮪鑿出網

網代網

建切捕網（三重縣下及宮崎縣下ノ小鯉網ヲ含ム）

張切地曳網（鹿兒島縣下大島地方ノ待網ヲ含ム）

張切網

鮪鑿大網（靜岡縣下ノ名稱）

漁業法施行規則ノ規定ニ該當スル漁業ノ名稱ノ件

六一

漁業法施行規則ノ規定ニ該當スル漁業ノ名稱ノ件

立網

鱈折網

鱈出網（福井縣下ノ鱈網ヲ含ム）

六、張網類漁業

鱈沖建網

魚來籠網

鱈瓢網

樫木張網一名樫木漁（長崎縣下ノばつしや網ヲ含ム）

囊網一名越中網

無雙網一名劍先網

立囊網

伏囊網

胴囊網

長囊網

鮭股引網

張網（滋賀縣下ノ名稱）

白魚間手網

鮎鱈建干網

建干網（熊本縣下ノ建網ヲ含ム）

七、鮎<sup>エリ</sup>鱈類漁業

鮎別名鱈建、鱈圍、鱈卷、ぐれ、八陣、鱈網

網鮎（秋田縣下ノ毛繩ヲ含ム）

水晶形器械網

鱈羽<sup>ハ</sup>瀬<sup>セ</sup>

鱈卷<sup>ハ</sup>瀬<sup>セ</sup>

鱈卷<sup>ハ</sup>瀬<sup>セ</sup>

鱈卷<sup>ハ</sup>瀬<sup>セ</sup>

八重<sup>ハ</sup>床<sup>セ</sup>

漁業法施行規則ノ規定ニ該當スル漁業ノ名稱ノ件

漁業法施行規則ノ規定ニ該當スル漁業ノ名稱ノ件

海 鮪 簀

八 重 簀

笹 干 見

石干見一名すくひ（沖繩縣下ノかきヲ含ム）

簀建持網（秋田縣下ノもつば及もつばかヲ含ム）

張 切 網

網代漁（千葉縣下及茨城縣下ノ名稱）

築（靜岡縣下ノ落簀、神奈川縣下ノ繩築、長野縣下ノ半瀬ノ切築及新潟縣

下ノ打切築ヲ含ム）

か つ と り 築

網築（福井縣下ノ天ノ網ヲ含ム）

鯨 築

白 魚 築

網戸漁（大分縣下ノ名稱）

鮭 鱒 瀬 張 網

鮭瀬張網（廣島縣下ノ切川、岡山縣下ノもんどり、東京府下及神奈川縣下

ノしらヲ含ム）

鮭 鱒 留 （茨城縣下ノ網留及竹留ヲ含ム）

鮭 留 地 曳 網

鮭 鱒 堰 罩

鱒 堰

瀬張堰（福井縣下ノ張網及長野縣下ノ鱒全瀬ノ切築ヲ含ム）

張待網（鳥根縣下ノ柴手網ヲ含ム）

よらす待網（大阪府下ノ名稱）

堰四手網（新潟縣下ノ持網及徳島縣下ノ氷魚堰ヲ含ム）

魚堰（埼玉縣下ノ簀圍、徳島縣下ノ漁魚堰、宮崎縣下ノ待堰、新潟縣下ノ

待網、宮城縣下ノ巖手縣下及福島縣下ノ簀留、秋田縣下ノ川留、石川縣下ノ

かわぎす網、山口縣下ノ網堰、簀堰、柴堰ヲ含ム）

漁業法施行規則ノ規定ニ該當スル漁業ノ名稱ノ件

漁業法施行規則ノ規定ニ該當スル漁業ノ名稱ノ件

鮎 鰯 掛

堰釜（大阪府下ノ竹もんどり、愛媛縣下ノうみ、廣島縣下ノ竹、島根縣下  
及大分縣下ノ釜、石川縣下ノもじ、山口縣下ノもじ堰、靜岡縣下ノもじり  
鳥取縣下ノ下り釜、群馬縣下ノ鮭鱒瀬張筒、奈良縣下ノもんどり一名さが  
リヲ含ム）

鮎 鰯 鮎

鮎 鰯 鮎

鮎 鰯 鮎

鮎 鰯 鮎

鮎 鰯 鮎

區劃漁業

一、第一種漁業

海苔築建養殖業  
青苔築建養殖業

牡蠣築建養殖業

おめき築建養殖業

牡蠣養殖業

眞珠介養殖業

藻類養殖業

二、第二種漁業

魚類養殖業

魚鼈類養殖業

蝦類養殖業

三、第三種漁業

介類養殖業

特別漁業

一、第一種漁業

鯨 業

漁業法施行規則ノ規定ニ該當スル漁業ノ名稱ノ件

漁業法施行規則ノ規定ニ該當スル漁業ノ名稱ノ件

六八

二、第二種漁業

海豚漁業

三、第三種漁業

獅地曳網

飯地曳網

鯛地曳網

鱈地曳網

鯨地曳網

鮪地曳網

めぢか地曳網

鱈地曳網

鮪地曳網

鮭地曳網

鱈地曳網

鱈地曳網

鱈地曳網

鯛車曳網一名高網地曳網

藏場地曳網

前十五種以外ノ地曳網

鮪待建網

灘網一名小鯨待建網

鯛地漕網一名地葛網

四、第四種漁業

鱈船曳網一名鱈掛曳網

鯛船曳網

鮪船曳網

飯船曳網

鮪船曳網

漁業法施行規則ノ規定ニ該當スル漁業ノ名稱ノ件

六九

漁業法施行規則ノ規定ニ該當スル漁業ノ名稱ノ件

七〇

鮭船曳網

前六種以外ノ船曳網

鯉瀬曳網

鯉中曳網

鱈鯖中曳網

鯛船曳葛網

五、第五種漁業

鱈野追込網一名ふかせ網（高知縣下ニ於テ鱈縛網ト稱ス）

鯉待網

鱈待網

受網

六、第六種漁業

鯉敷網ヨツバリ

鱈敷網（鱈四張網ヲ含ム）

鱈敷網（熊本縣下ノ打網ヲ含ム）

鯉敷網（高知縣下及鹿兒島縣下ノ八田網ヲ含ム）

鯉敷網（鯉四張網一名鯉四艘張網ヲ含ム）

いさき敷網

野敷網

海鯉敷網

前八種以外ノ敷網

八艘張網

鯛葛網

鱈鯖八田網

鯉八田網

鯉持網（熊本縣下ノ名稱）

ゑいと網一名四張網

野落網

漁業法施行規則ノ規定ニ該當スル漁業ノ名稱ノ件

七一

漁業法施行規則ノ規定ニ該當スル漁業ノ名稱ノ件

七二

七、第七種漁業

鮪起網(青森縣下ノ鮪立網ヲ含ム)

鮪飼付

鯛飼付

鯰飼付

鮪飼付

八、第八種漁業

鯉漬

九、第九種漁業

築瀬一名松葉礁マツバグサ

こしよらたひ築磯一名たもり磯ウモレ

### 漁場圖調製心得及雛形ニ關スル件

〔明治四十四年三月三十一日  
農商務省告示第二百十三號〕

漁業登録令及明治四十三年農商務省令第二十五號漁業法施行規則ニ依リ行政官廳ニ差  
出スヘキ漁場圖調製心得及雛形左ノ通相定ム

#### 調製心得

- 一、基點ヲ定メ距離及方位ニ依リテ測量シタル漁場ノ位置ヲ示スニハ其ノ基點、距  
離及方位ヲ記入スヘシ
- 二、山見法（山立トモ言ヒ二箇ノ顯著ナル目標ノ見通線ト同一方法ニ依レル他ノ見  
通線トノ交叉ニ依リ其ノ位置ヲ定ムル方法ヲ謂フ）ニ依リテ測量シタル漁場ノ位  
置ヲ示スニハ目標及見通線ヲ記入シ見通状態ヲ明示スル對景圖（見取圖）ヲ添附  
スヘシ
- 二見通線間ノ角度ハ可成九十度内外ニ取ルヘシ

漁場圖調製心得及雛形ニ關スル件

漁場圖調製心得及雛形ニ關スル件

七四

- 二、見通線間ノ角度百二十度以上ノ鈍角或ハ六十度以下ノ銳角ナルトキハ更ニ前法ニ準シテ三箇以上ノ見通線交叉ヲ以テ測點ノ位置ヲ定ムヘシ
- 磁針ヲ併用シタルトキハ其ノ方位ヲ併記スヘシ
- 三、前二項以外ノ方法ニ依リ測量シタル漁場ノ位置ヲ示スニハ測量ニ用キタル目標、方位、角度及距離ヲ記入シ且測量器械ノ名稱ヲ附記スヘシ
- 四、基點ハ燈臺、井戸、橋梁、神社、佛閣、碑、岩石、島嶼、岬角、其ノ他顯著ナル不動物體ヲ撰フヘシ
- 但シ顯著ナル不動物體ナキトキハ標木石ヲ建設スルカ若ハ附近ノ見取圖ヲ添附スヘシ
- 五、距離ハ間ヲ以テ計ルヘシ
- 但シ水面ノ距離ハ海里ヲ用ウルコトヲ得
- 六、方位ハ磁針ニ取リ分度法（三百六十度）ニ依ルヘシ
- 眞方位ヲ用キタルトキハ其ノ眞方位ナル旨ヲ記スヘシ
- 七、面積ハ坪ヲ以テ計ルヘシ

八、水深ヲ記入スルトキハ尋（五尺）ヲ以テ計リ其ノ基準面ヲ明示スヘシ

九、海岸線ヲ定ムルニハ朔望満潮時ヲ以テスヘシ

十、定置漁業ノ漁場圖ニハ漁具敷設又ハ建設ノ要點ノ位置及名稱並漁具敷設又ハ建設ハ間數ヲ記載スヘシ

十一、區劃漁業ノ漁場圖ニハ面積ノ算出ニ必要ナル事項ヲ記入スヘシ

十二、漁場圖ニハ其ノ漁場附近ノ地形、地名、府縣郡市町村大字字等ノ境界線、南

北線及縮尺ノ定アルモノハ其ノ縮尺ヲ記入スヘシ

十三、漁場ノ區域線（海岸線ヲ除ク）ハ朱ノ實線トシ其ノ他ノ見通線、方位線ハ朱ノ點線トスヘシ

十四、用紙ハ礬水引美濃紙ヲ用キ描寫ニハ鉛筆又ハ「インキ」ヲ用ウヘカラス

（雛形）

定置漁業漁場圖（例ノ一）

臺網類漁業何大敷網

漁場圖調製心得及雛形ニ關スル件

七五



漁場圖調製心得及雛形ニ關スル件

漁場ノ位置(及名稱)

何縣何郡何村字何々ノ地先(何漁場)

點ノ位置

其點甲、何村何々何岩

十イ、甲ヨリ何度何間ノ處

十一ロ、甲ヨリ何度何間ノ處

十二ハ、甲ヨリ何度何間ノ處

十三ニ、甲ヨリ何度何間ノ處

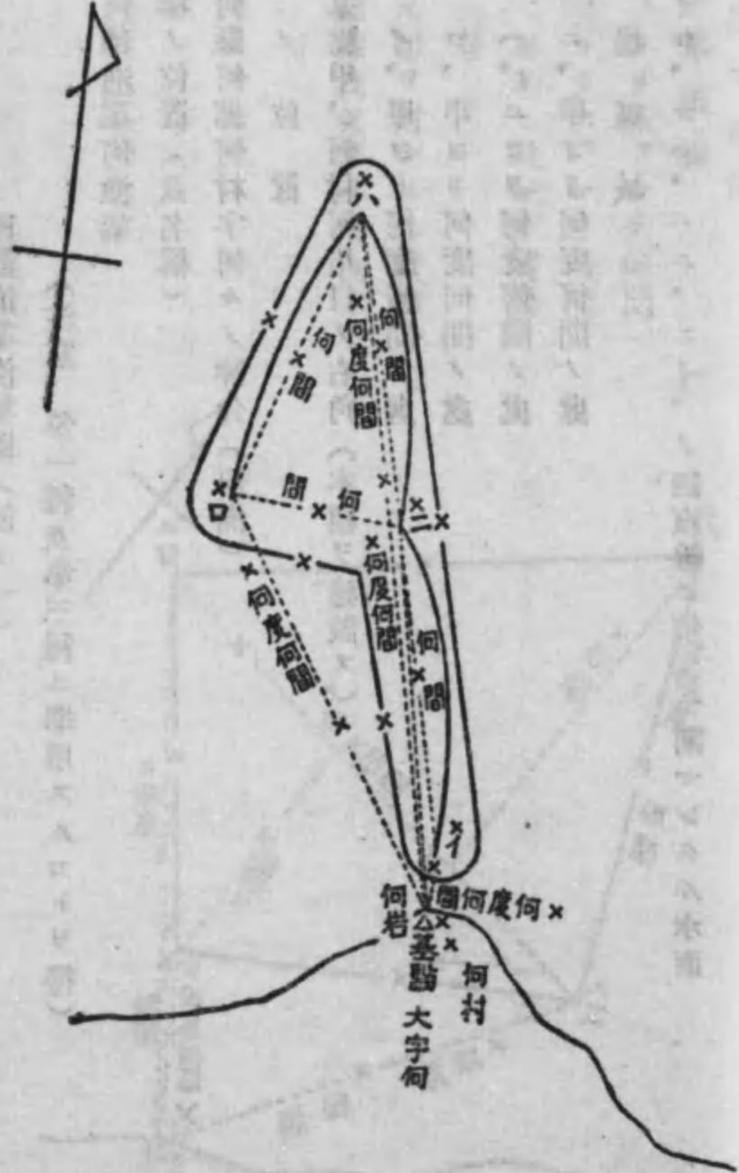
漁場區域

十一イニ、直線、及ロハニ、三角形ヨリ何間ノ連結線ニ依リテ圍マレタル水面

要

十ロ、沖ノはさき(ハ、臺、ニ、地ノはさき)

漁場圖調製心得及雛形ニ關スル件



色朱ハ字文及線點、線實ルヲシ附ヲ印× 考備

漁場圖調製心得及雛形ニ關スル件

區劃漁業漁場圖(例ノ一)

(注意、第一種及第三種ニ準用スルコトヲ得)

第何種漁業何漁業

漁場ノ位置(及名稱)

何縣何郡何村字何々ノ沖合(何洲)

點ノ位置

基點甲、何村何川口ノ右角(木標ヲ建設ス)

イ、甲ヨリ何度何間ノ處

ロ、甲ヨリ何度何間ノ處

ハ、ニヨリ何度何間ノ處

ニ、甲ヨリ何度何間ノ處

漁場區域

イロ、ロハ、ハニ、ニイ、ノ四直線ニ依リテ圍マレタル水面

漁場ノ面積

實地ニ於テ測ルニ當リ、測點及文字、木標

何坪何合何勻

面積算出線

ロ、ヨリニ、マテ何間

イ、ヨリホ、マテ何間

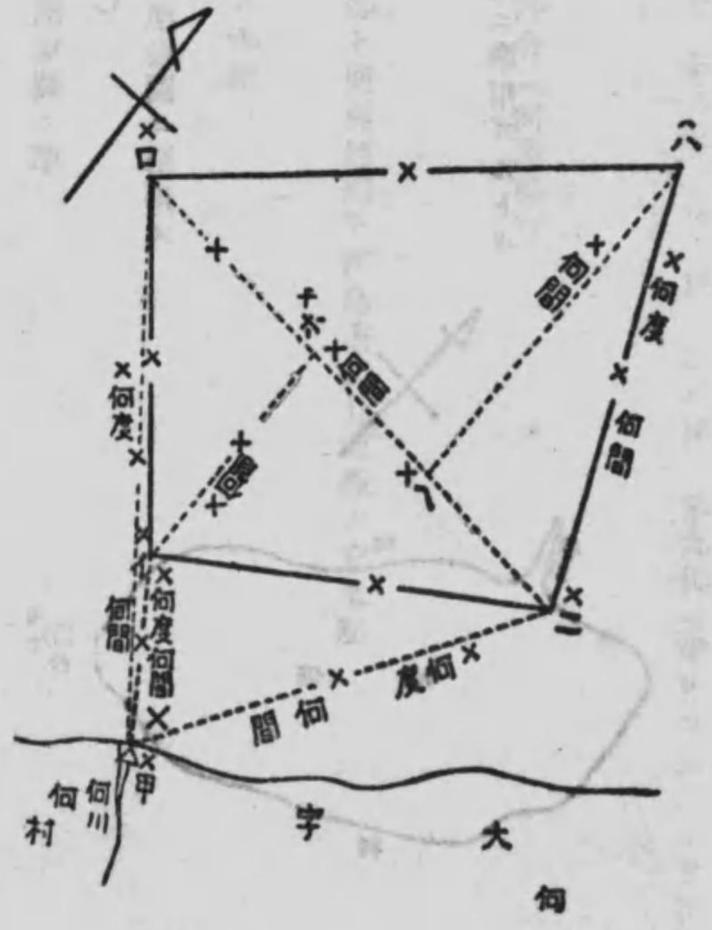
ハ、ヨリヘ、マテ何間

備考

×印ヲ附シタル實線、

點線及文字ハ朱色

漁場圖調製心得及雛形ニ關スル件



漁場圖調製心得及雛形ニ關スル件

區劃漁業漁場圖(例ノ二)

(注意、専用漁業漁場圖ニ準  
用スルコトヲ得)

第何種漁業何漁業(専用漁業漁場圖ニ準用ス  
ルトキハ本項ハ不要)

漁場ノ位置

何縣何郡何村字何ノ地先

漁場區域

何池ノ全部

漁場ノ面積(専用漁業漁場圖ニ準用スルトキ  
ハ不要)

何歩(土地臺帳ニ據ル)



八〇

特別漁業漁場圖(例ノ一)

(注意、第六種、第七種、第八種、第九種ニ準用スルコトヲ得)

第何種漁業何漁業

漁場ノ位置(及名稱)

何縣何郡何村何々ノ沖合(何漁場)

點ノ位置

基點甲、何村何岬

イ、甲ヨリ何度ノ線ト何村何岬ト何島南端見通線ノ交叉點

漁場區域

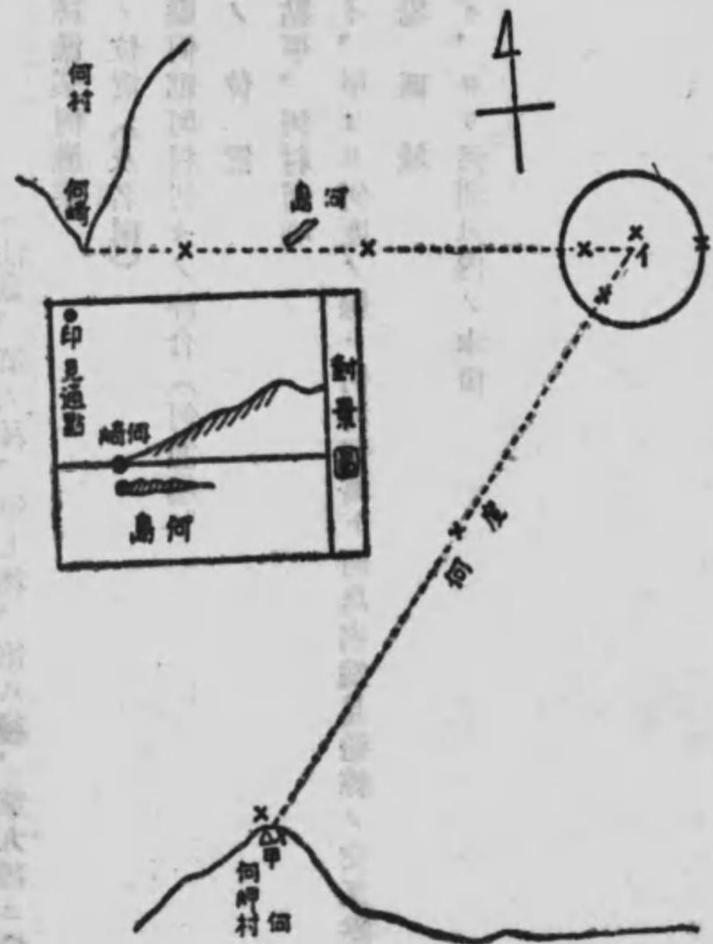
イ、ヨリ何間以内ノ水面



漁場圖調製心得及雛形ニ關スル件

八一

漁場圖調製心得及雛形ニ關スル件



備考 ×印ヲ附シタル實線、點線及文字ハ朱色

專用漁業漁場圖(例ノ一)

漁場ノ位置

何縣何郡何村何崎ヨリ何々ニ至ル間ノ地先

點ノ位置

基點甲、何村界何鼻

同 乙、何村大字何、何鼻

同 丙、何村大字何、何某井戸

イ、丙、ヨリ何度何間ノ處

ロ、乙、ヨリ何度ノ線ト何村何崎ト何島ノ頂上見通線トノ交叉點

ハ、イ、ヨリ何度何間ノ處

漁場區域

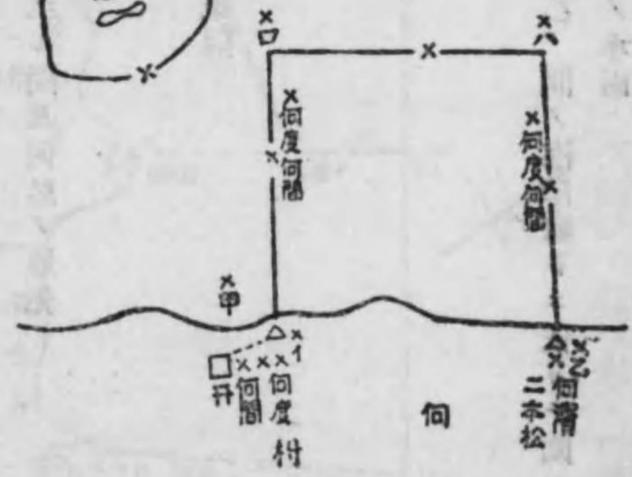
乙ロ、ロハ、ハイ、ノ三直線ト乙、イ、間ノ海岸線トニ依リテ圍マレタル水面及

甲ヨリ何度ノ線ト乙ロ、直線トノ間ニ於テ海岸朔望滿潮線ヨリ何間以内ノ水面

漁場圖調製心得及雛形ニ關スル件



漁場圖調製心得及雛形ニ關スル件



漁業權者 何々漁業組合(氏名)印

備考 ×印ヲ附シタル實線、點線及文字ハ朱色

免許漁業ニ關スル願書、申請書及届書  
ノ書式

〔明治四十四年三月十八日  
農商務省告示第百七十九號〕

明治四十三年農商務省令第二十五號漁業法施行規則ニ依リ行政官廳ニ差出スヘキ免許  
漁業ニ關スル願書、申請書及届書ノ書式左ノ通相定ム

書式

(注意)

- 一、書面數葉ニ洩ルトキハ每葉ノ綴目ニ適宜契印スヘシ
- 二、關係書類ヲ提出スル場合ニハ本書並其ノ謄本ヲ添附スヘシ  
但シ公正謄本ヲ以テ本書ニ代フルトキハ其ノ謄本ヲ要セス

第一號 漁業免許願書式

(一)

免許漁業ニ關スル願書、申請書及届書ノ書式

免許漁業ニ關スル願書、申請書及届書ノ書式

八八

收入印紙

専用漁業免許願

收入印紙  
何圓貼附

一、漁業ノ位置及區域別紙漁場圖ノ通

一、漁具ノ種類又ハ漁業ノ方法

一、何々々々

一、何々々々

一、漁業權存續期間 何箇年

前記ノ通専用漁業ノ免許相受度別紙漁場圖二通（及關係書類）相添此段相願候也

漁業時期

自何月何日

至何月何日

住所

何々漁業組合

理事氏

名

役印  
押捺

年月日

農商務大臣氏名殿

關係書類ノ表示

一、何々々々 何通

一、何々々々 何通

以上何通

共同出願ノ場合ノ記名ハ左ノ例ニ依ルヘシ（代表者ノ選定届ヲ出シタルトキ）

何々漁業組合外何組合

代表者

住所

何々漁業組合

理事氏

名

役印  
押捺

（別ニ代表者ノ選定届ヲ出ササルトキ）

住所

何々漁業組合

免許漁業ニ關スル願書、申請書及届書ノ書式

八九

免許漁業ニ關スル願書、申請書及届書ノ書式

九〇

理事氏 名 押捺印

住所

何々漁業組合

理事氏 名 押捺印

住所

何々漁業組合

理事氏 名 押捺印

右代表者

何々漁業組合

(注意) 一、漁業法第五條、第十六條、漁業法施行規則第一條、第二條、第十一條、第十六條、第十七條、第二十一條乃至第二十五條及第二十八條參看

收入印紙

(二)

定置(區劃)(特別) 漁業免許願

收入印紙 何圓貼附

一、漁場ノ位置及區域 別紙漁場圖ノ通

一、漁業ノ種類及名稱 何類漁業何々

一、漁獲物ノ種類 何々

一、漁業時期 自何月何日 至何月何日

一、漁業權存續期間 何箇年

前記ノ通定置(區劃)(特別) 漁業ノ免許相受度別紙漁場圖二通(及關係書類) 相添 此段相願候也

住所

何々漁業組合

理事氏 名 押捺印

年月日

免許漁業ニ關スル願書、申請書及届書ノ書式

九一

免許漁業ニ關スル願書、申請書及届書ノ書式

九二

(氏 名 印)

地方長官(農商務大臣)氏名殿

關係書類ノ表示

一、何々々々 何 通

一、何々々々 何 通

以上何通

共同出願ノ場合ノ記名ハ書式第一號ノ(一)専用漁業共同出願ノ例ニ準ス

(注意) 一、漁業法第四條、第十六條、漁業法施行規則第一條、第二條、第十一條

乃至第十七條、第二十二條乃至第二十五條及第二十八條參看

第二號 代表者ニ關スル届書式

(一)

代表者選定届

住 所

何々漁業組合

(氏 名)

前記ノ者代表者ニ選定候ニ付漁業法施行規則第二十五條(第二十七條)ニ依リ此段及御届候也

農商務大臣(地方長官)氏名殿

(注意) 一、漁業法施行規則第二十五條、第二十七條及第二十八條參看

(二)

代表者變更届

何年何月何日何漁業免許願

住 所

舊代表者 何々漁業組合

(氏 名)

免許漁業ニ關スル願書、申請書及届書ノ書式

九三

免許漁業ニ關スル願書、申請書及届書ノ書式

九四

住 所

新代表者 何々漁業組合

(氏 名)

前記ノ通變更候ニ付漁業法施行規則第二十六條第二項(第二十七條)ニ依リ此段及御届候也

住 所

年 月 日

共 同 者 連 印

農商務大臣(地方長官)氏名殿

漁業法施行規則第二十七條ノ權利者ノ代表者ヲ變更スル場合ニ於テハ本屆書式中「何年何月何日付何漁業免許願」トアルヲ「免許番號第何號何漁業權」入漁登錄番號第何號入漁權「順位何番(賃借權)(抵當權)(先取特權)」ト記載スヘシ  
(注意) 一、漁業法施行規則第二十六條乃至第二十八條參看  
第三號 漁業權變更願書式

(一)

收入  
印紙

專用漁業權變更願

收入印紙  
何圓貼附

免許番號第何號

一、漁場區域ノ變更 別紙漁場圖ノ通

一、漁業種類ノ變更

増 加

漁具ノ種類又ハ漁業ノ方法

漁獲物ノ種類

漁業時期

一、何 々

何 々

自何月何日  
至何月何日

一、何 々

何 々

自何月何日  
至何月何日

削 減

漁業ノ種類

一、何 漁業

一、何 漁業

免許漁業ニ關スル願書、申請書及届書ノ書式

九五

免許漁業ニ關スル願書、申請書及届書ノ書式

一、漁獲物ノ種類ノ變更

一、何漁業ノ漁獲物

一、何漁業ノ漁獲物

一、漁業時期ノ變更

一、何漁業ノ漁業時期

自何月何日ヲ自何月何日ニ

至何月何日ヲ至何月何日ニ

一、何漁業ノ漁業時期

自何月何日ヲ自何月何日ニ

至何月何日ヲ至何月何日ニ

前記ノ通變更ノ許可相受度(別紙漁場圖ニ通及關係書類相添)此段相願候也

年 月 日

住 所  
何々漁業組合  
理 事 氏

名  
役印  
押捺

(氏 名)

農商務大臣氏名殿

關係書類ノ表示

一、何々

何 通

一、何々

何 通

以上何通

(注意) 一、漁業法第十條第一項、第二十八條、漁業法施行規則第二條、第二十條

第二十四條及第三十條參看

(二)

收入  
印紙

定置(區劃)(特別)漁業權變更願

收入印紙  
何圓貼附

免許番號第何號

一、漁場區域ノ變更 別紙漁場圖ノ通

(一)漁獲物ノ種類ノ變更 何々ヲ何々ニ

免許漁業ニ關スル願書、申請書及届書ノ書式

免許漁業ニ關スル願書、申請書及届書ノ書式

九八

(一) 漁業時期ノ變更 自何月何日ヲ 自何月何日ニ  
至何月何日 至何月何日

前記ノ通變更ノ許可相受度 (別紙漁場圖ニ通及關係書類相添) 此段相願候也

住所

何々漁業組合

理事 氏

(氏

名

押捺

名

印

年 月 日

地方長官(農商務大臣)氏名殿  
關係書類ノ表示

一、何々 何通

一、何々 何通

以上何通

(注意) 一、漁業法第十條第一項、第二十八條、漁業法施行規則第二條、第二十四條及第三十條參看

第四號 漁業權分割願書式

(一)

收入  
印紙

專用漁業權分割願

收入印紙  
何圓貼附

免許番號第何號

(漁場ノ分割ニ依ルモノ)

甲 一、漁場區域 別紙甲號漁場圖ノ通

乙 一、漁場區域 別紙乙號漁場圖ノ通

(漁業ノ種類ノ分割ニ依ルモノ)

甲 一、何 漁業

一、何 漁業

乙 一、何 漁業

一、何 漁業

(漁業時期ノ分割ニ依ルモノ)

免許漁業ニ關スル願書、申請書及届書ノ書式

九九

免許漁業ニ關スル願書、申請書及届書ノ書式

100

甲 一、何 漁 業

自何月何日  
至何月何日

一、何 漁 業

自何月何日  
至何月何日

乙 一、何 漁 業

自何月何日  
至何月何日

一、何 漁 業

自何月何日  
至何月何日

前記ノ通分割ノ許可相受度別紙漁場圖何通(及關係書類)相添此段相願候也

住 所

何々漁業組合

年 月 日

理 事 氏

名

押捺印

(氏

名)

農商務大臣氏名殿

關係書類ノ表示

一、何 々

何 通

一、何 々

何 通

以上何通

(注意) 一、願書ニ添附スヘキ漁場圖ハ分割ノ數ニ應シ各二通トス

二、漁業法第十條第一項、第二十八條、漁業法施行規則第二條及第三十條

參看

(二)

收入印紙

定置(區劃)(特別)漁業權分割願

收入印紙  
何圓貼附

免許番號第何號

(漁場ノ分割ニ依ルモノ)

甲 一、漁場區域 別紙甲號漁場圖ノ通

乙 一、漁場區域 別紙乙號漁場圖ノ通

免許漁業ニ關スル願書、申請書及届書ノ書式

101

免許漁業ニ關スル願書、申請書及届書ノ書式

一〇三

(漁業時期ノ分割ニ依ルモノ)

甲 一、漁業時期 自何月何日 至何月何日

乙 一、漁業時期 自何月何日 至何月何日

前記ノ通分割ノ許可相受度別紙漁場圖何通(及關係書類)相添此段相願候也

住所

何々漁業組合

年 月 日

理 事 氏

名

役印  
押捺

(氏 名)

地方長官(農商務大臣)氏名殿

關係書類ノ表示

一、何々々 何通

一、何々々 何通

以上何通

(注意) 一、願書ニ添附スヘキ漁場圖ハ分割ノ數ニ應シ各二通トス

二、漁業法第十條第一項、第二十八條、漁業法施行規則第二條及第三十條

參看

第五號 漁業權存續期間更新申請書式

收入  
印紙

専用(定置)(區劃)(特別)漁業權存續期間更新申請

收入印紙  
何圓貼附

免許番號第何號

一、更新期間 何箇年

前記ノ通更新ノ免許相受度(別紙關係書類相添)此段申請候也

住所

何々漁業組合

年 月 日

理 事 氏

名

役印  
押捺

(氏 名)

免許漁業ニ關スル願書、申請書及届書ノ書式

一〇三

免許漁業ニ關スル願書、申請書及届書ノ書式

一〇四

農商務大臣(地方長官)氏名殿

關係書類ノ表示

一、何々々

何通

一、何々々

何通

以上何通

(注意)

一、漁業法第十六條、漁業法施行規則第一條、第二條及第三十一條參看

第六號 漁業權處分認可申請書式

收入印紙

專用漁業權處分認可申請

何圓貼附

一、免許番號第何號

前記地先水面専用漁業權(漁業權ノ持分)ノ讓渡(共有)(拋棄)(抵當權設定)認可相  
受度別紙事由書(及關係書類)相添此段申請候也

住 所

何々漁業組合

年 月 日

理 事 氏 名

名

押捺印

農商務大臣氏名殿

關係書類ノ表示

一、何々々

何通

一、何々々

何通

以上何通

(注意)

一、漁業法第十條第二項、漁業法施行規則第二條及第三十五條參看

第七號 休業認可申請書式

收入印紙

專用(定置)(區劃)(特別)漁業休業認可申請

何圓貼附

免許番號第何號

一、休業期間

自何年何月何日  
至何年何月何日

免許漁業ニ關スル願書、申請書及届書ノ書式

一〇五

免許漁業ニ關スル願書、申請書及届書ノ書式

一〇六

前記ノ通休業ノ認可相受度別紙事由書(及關係書類)相添此段申請候也

住所

氏

名印

年月日

農商務大臣(地方長官)氏名殿

關係書類ノ表示

一、何々

何通

一、何々

何通

以上何通

(注意) 一、漁業法施行規則第二條及第三十六條參看

第八號 就業届書式

專用(定置)(區劃)(特別)漁業就業届

免許番號第何號

何年何月何日認可

一、休業期間

自何年何月何日  
至何年何月何日

前記ノ通休業ノ認可相受候處何年何月何日ヨリ就業候ニ付此段及御届候也

住所

氏

名印

年月日

農商務大臣(地方長官)氏名殿

(注意) 一、漁業法施行規則第一條、第二條及第三十六條參看

第九號 漁業權拋棄届書式

專用(定置)(區劃)(特別)漁業權拋棄届

一、免許番號第何號

前記ノ漁業權拋棄候ニ付(別紙關係書類相添)此段及御届候也

住所

何々漁業組合

理事 氏

名

役印  
押捺

年月日

免許漁業ニ關スル願書、申請書及届書ノ書式

一〇七

免許漁業ニ關スル願書、申請書及届書ノ書式

一〇八

名印

農商務大臣(地方長官)氏名殿

關係書類ノ表示

一、何々

何通

一、何々

何通

以上何通

(注意)

一、漁業法第十條第二項、第二十八條、漁業法施行規則第二條、第三十五條及第三十七條參看

## 漁業組合令

明治四十三年十一月十二日  
勅令第四百二十九號  
昭和九年七月二十五日  
勅令第二百三十二號改正

### 第一章 總則

第一條 本令ニ於テ組合ト稱スルハ漁業法第四十二條ノ規定ニ依リ設立スル漁業組合ヲ謂ヒ聯合會ト稱スルハ同法第四十四條ノ規定ニ依リ設立スル漁業組合聯合會ヲ謂フ

第二條 組合ハ其ノ名稱中ニ漁業組合ナル文字ヲ用フベシ  
但シ漁業法第四十三條ノ三第一項ノ規定ニ依リ組合員ニ出資ヲ爲サシムル組合（漁業協同組合）ニ在リテハ漁業協同組合ナル文字ヲ用フベシ  
聯合會ハ其ノ名稱中ニ漁業組合聯合會ナル文字ヲ用フベシ  
無限責任、有限責任又ハ保證責任ノ組合及聯合會ノ名稱中ニハ第一項又ハ前項ニ掲

漁業組合令

漁業組合令

一一〇

ゲタル文字ノ外其ノ組織ヲ示スベキ文字ヲ用フベシ  
組合又ハ聯合會ニ非ズシテ其ノ名稱中ニ漁業組合ナル文字ヲ用フルコトヲ得ズ  
漁業協同組合ニ非ズシテ其ノ名稱中ニ漁業協同組合ナル文字ヲ用フルコトヲ得ズ  
第三條 組合又ハ聯合會ノ住所ハ其ノ主タル事務所ノ所在地ニ在ルモノトス  
第四條 本令ニ依リ地方長官ニ屬スル職權ハ北海道廳支廳長又ハ府縣支廳長ニ之ヲ  
委任スルコトヲ得

但シ組合又ハ聯合會設立ノ許可、第二十條第一項第六號、第九號及第十二號ノ事項  
ニ關スル認可並第五十條ノ裁決ニ付テハ此ノ限ニ在ラス  
第四條ノ二 本令中地方長官トアルハ地區ガ道府縣ノ區域ヲ超ユル組合又ハ聯合會ニ  
在リテハ之ヲ農林大臣トス

前項ノ規定ニ依ル農林大臣ノ職權ノ一部ハ地方長官ニ之ヲ委任スルコトヲ得  
第五條 本令ニ依リ登記スヘキ事項ニシテ官廳ノ許可又ハ認可ヲ要スルモノハ其ノ  
許可書又ハ認可書ノ到達シタル時ヨリ登記ノ期間ヲ起算ス

第五條ノ二 組合ニシテ漁業法第四十三條ノ二第一項第三號又ハ第四號ノ事業ヲ行フ

モノ及聯合會ニハ本令ニ別段ノ規定アルモノヲ除クノ外商法及商法施行法中商人ニ  
關スル規定ヲ準用ス

第二章 設立

第六條 組合ノ設立ニハ組合ノ地區タルヘキ區域内ニ住所ヲ有スル漁業者五人以上  
ノ發起人アルコトヲ要ス

第七條 發起人ハ左ノ事項ヲ組合ノ地區タルヘキ區域内ニ住所ヲ有スル漁業者ニ通  
知シ組合設立ノ同意ヲ求ムヘシ

一、地區タルヘキ區域

二、目的及事業ノ概要

三、同意表示ノ方法及期間

四、漁業法第四十三條ノ二第一項第三號又ハ第四號ノ事業ヲ行フ組合ニ在リテハ  
其ノ組織

五、漁業協同組合ニ在リテハ出資一口ノ金額及其ノ拂込ノ方法

六、保證責任ノ組合ニ在リテハ保證金額ヲ定ムル方法

漁業組合令

一一一

漁業組合令

一一二

第八條 組合ノ地區ハ重複スルコトヲ得ス

第九條 發起人ハ組合ノ地區タルヘキ區域内ニ住所ヲ有スル漁業者三分ノ二以上ノ

同意ヲ得タルトキハ遲滞ナク創立總會ヲ招集スヘシ

但シ組合ノ地區タルヘキ區域カ二部落以上ニ亙ルトキハ各部落毎ニ其ノ區域内ニ住所ヲ有スル漁業者三分ノ二以上ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス

特別ノ事由ニ因リ前項ノ同意ヲ得ルコト能ハサルトキハ地方長官ノ認可ヲ得テ創立總會ヲ招集スルコトヲ得

第十條 發起人ハ規約、初年度ニ於ケル經費ノ收支豫算及分賦收入方法ノ議案ヲ作り之ヲ創立總會ニ提出スヘシ

但シ漁業法第四十三條ノ二第一項第三號又ハ第四號ノ事業ヲ行フ組合ニシテ組合員ニ經費ヲ分賦セザルモノニ在リテハ經費ノ收支豫算及分賦收入方法ノ議案ハ之ヲ提出スルコトヲ要セズ

組合ノ設立費用及其ノ償却ノ方法ハ創立總會ノ承認ヲ經ヘシ

第十一條 發起人創立總會ヲ招集スルニハ少クトモ五日前ニ會議ノ目的、日時及場所

並規約案備附ノ場所及閱覽ノ時間ヲ設立同意者ニ通知スヘシ

第十二條 規約ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

一、目的

二、名 稱

三、地 區

四、事務所ノ所在地

五、組合員ノ加入及脱退ニ關スル規定

六、役員ニ關スル規定

七、會議ニ關スル規定

八、會計及財産ノ管理ニ關スル規定

九、組合ノ取得シ又ハ貸付ヲ受ケタル専用漁業權又ハ入漁權ノ行使ニ關スル規定

十、前號ノ權利ノ行使ニ關シ特別ノ利益ヲ受クル組合員ヨリ料金ヲ納メシムルト

キハ之ニ關スル規定

十一、共同施設事業ノ執行ニ關スル規定

漁業組合令

一一三

漁業組合令

一一四

十二、存立時期又ハ解散ノ事由ヲ定メタルトキハ其ノ時期又ハ事由  
漁業協同組合ノ規約ニハ前項ニ掲ゲタルモノノ外左ノ事項ヲ記載スベシ

一、組織

二、出資一口ノ金額及其ノ拂込ノ方法

三、保證責任ノ組合ニ在リテハ保證金額ニ關スル規定

四、第一回拂込ノ金額

五、剩餘金處分及損失分擔ニ關スル規定

六、準備金ノ額及其ノ積立ノ方法

漁業協同組合ニ非ズシテ漁業法第四十三條ノ五ノ組織ヲ有スル組合ノ規約ニハ第一  
項ニ掲ゲタルモノノ外前項第一號、第三號及第五號ニ掲ゲタル事項ヲ記載スベシ

第十三條 創立總會ノ決議ハ設立同意者ノ三分ノ二以上ノ同意ヲ以テ之ヲ爲スベシ

第十四條 設立同意者ハ他ノ設立同意者ニ委任シテ其ノ議決權ヲ行フコトヲ得

前項ノ受任者ハ委任狀ヲ發起人ニ差出スヘシ

第十五條 創立總會終了シタルトキハ發起人ハ組合設立ノ許可申請書ヲ地方長官ニ差

出スヘシ

前項ノ申請書ニハ規約第九條ノ同意ヲ證スル書面創立總會ノ決議録ノ謄本及左ニ掲  
グル事項ヲ記載シタル書面ヲ添附スベシ

但シ漁業法第四十三條ノ二第一項第三號又ハ第四號ノ事業ヲ行フ組合ニシテ組合員  
ニ經費ヲ分賦セザルモノニ在リテハ第二號ニ掲グル事項ヲ記載シタル書面ハ之ヲ添  
附スルコトヲ要セズ

一、事業計畫

二、初年度ニ於ケル經費ノ收支豫算及分賦收入方法

三、漁業協同組合ニ在リテハ出資ノ總口數

四、保證責任ノ組合ニ在リテハ保證金額ノ總額

五、組合ノ設立費用及其ノ償却ノ方法

六、理事及監事ノ氏名、住所

七、漁業法第四十二條第二項但書ニ該當スル場合ニ在リテハ其ノ理由  
第十五條ノ二 漁業協同組合ガ其ノ設立ノ許可ヲ受ケタルトキハ遅滞ナク各組合員ヲ

漁業組合令

一一五

シテ第一回ノ拂込ヲ爲サシムベシ  
第十六條 組合設立ノ登記ハ其ノ設立ノ日ヨリ二週間内ニ各事務所ノ所在地ニ於テ之ヲ爲スヘシ

但シ漁業協同組合ニ在リテハ前條ノ規定ニ依ル第一回ノ拂込アリタル日ヨリ二週間内ニ之ヲ爲スベシ

登記スヘキ事項左ノ如シ

- 一、第十二條第一項第一號乃至第三號及第十二號ニ掲ケタル事項
- 一ノ二、事務所

二、設立許可ノ年月日

三、理事及監事ノ氏名、住所

四、漁業法第四十三條ノ二第一項第三號又ハ第四號ノ事業ヲ行フ組合ニ在リテハ其ノ組織

五、漁業協同組合ニ在リテハ出資一口ノ金額及其ノ拂込ノ方法

前項ニ掲ケタル事項中ニ變更ヲ生シタルトキハ二週間内ニ其ノ登記ヲ爲スヘシ

第十六條ノ二 漁業法第四十三條ノ五ノ組織ヲ有スル組合ガ其ノ主タル事務所ノ所在

地ニ於テ設立登記ノ申請ヲ爲ス場合ニハ其ノ申請書ニ組合原簿ヲ添附スベシ

第十六條ノ三 組合原簿ニハ左ノ事項ヲ記載スベシ

- 一、漁業協同組合ニ在リテハ出資ノ總口數及拂込ミタル出資ノ總額
  - 二、無限責任ノ組合ニ在リテハ各組合員ノ氏名、住所
  - 三、保證責任ノ組合ニ在リテハ各組合員ノ氏名、住所及保證金額
- 登記所ノ受理シタル組合原簿ハ之ヲ登記簿ノ一部ト看做シ其ノ記載ハ之ヲ登記ト看做ス

第十八條及漁業法第四十六條第二項ノ規定ハ組合原簿ニ之ヲ準用ス

第十六條ノ四 組合原簿ニ記載シタル事項中ニ變更ヲ生シタルトキハ二週間内ニ其ノ登記ヲ爲スベシ

組合員ノ加入ニ因ル組合原簿ニ記載シタル事項ノ變更登記ノ申請書ニハ無限責任ノ組合ニ在リテハ加入者ノ氏名及住所ヲ、保證責任ノ組合ニ在リテハ加入者ノ氏名、住所及保證金額ヲ記載シタル組合原簿ヲ添附スベシ

組合原簿ニ記載シタル事項ノ變更ノ登記ハ第一項ノ規定ニ拘ラズ其ノ事業年度ノ終ヨリ二週間内ニ之ヲ爲スコトヲ得

但シ組合員ノ脱退又ハ保證金額ノ減少ニ付テハ規約ニ之ヲ定メタル場合ニ限ル

第十七條 組合設立ノ後新ニ事務所ヲ設ケタルトキハ其ノ事務所ノ所在地ニ於テハ二週間内ニ第十六條第二項ニ掲ケタル事項ノ登記ヲ爲シ他ノ事務所ノ所在地ニ於テハ

同期間内ニ新ニ事務所ヲ設ケタルコトヲ登記スヘシ

組合カ其ノ事務所ヲ移轉シタルトキハ舊所在地ニ於テハ二週間内ニ移轉ノ登記ヲ爲シ新所在地ニ於テハ同期間内ニ第十六條第二項ニ掲ケタル事項ノ登記ヲ爲スヘシ

第十六條ノ二ノ規定ハ漁業法第四十三條ノ五ノ組織ヲ有スル組合ガ其ノ主タル事務所ノ移轉ニ因リ新所在地ニ於テ前項ノ規定ニ依ル登記ノ申請ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

同一ノ登記所ノ管轄區域内ニ於テ事務所ヲ移轉シタルトキハ其ノ移轉ノミノ登記ヲ爲スヘシ

第十八條 行政區劃、大字又ハ字ノ名稱ニ變更アリタルトキハ登記簿ニ記載シタル行

政區劃、大字又ハ字ノ名稱ハ當然之ヲ變更シタルモノト看做ス

行政區劃、大字又ハ字ノ變更アリタルトキ亦前項ニ同シ

但シ組合ノ地區ニ關シテハ此ノ限ニ在ラス

第十九條 前條ノ規定ハ地區及事務所所在地ニ關スル規約ノ規定ニ之ヲ準用ス此ノ場合ニ於テハ組合ハ規約ノ記載ヲ訂正シ且遲滞ナク其ノ旨ヲ地方長官ニ届出ツヘシ

第三章 會 議

第二十條 本令中別ニ規定アルモノノ外左ニ掲ケル事項ハ組合員總會ノ決議ヲ經ヘシ但シ第八號ニ掲ケル事項ニ付テハ規約ヲ以テ別段ノ規定ヲ設クルコトヲ得

- 一、經費ノ收支豫算
- 二、經費ノ分賦收入方法
- 三、漁業權又ハ不動産ニ關スル物權ノ得喪又ハ變更ヲ目的トスル行爲
- 四、基金ノ支出又ハ其ノ利用方法
- 五、豫算外ノ支出
- 六、負債ヲ起スコト

漁業組合令

一一〇

- 六ノ二、漁業法第四十三條ノ八ノ規定ニ依リ自ラ漁業ヲ營ムコト
  - 七、組合員ノ除名
  - 八、組合員ニ非サル者ニ對スル漁業權ノ貸付又ハ入漁權ノ設定、得喪若ハ變更
  - 九、規約ノ變更
  - 十、訴願、訴訟又ハ和解
  - 十一、聯合會ヲ設立シ又ハ之ニ加入シ若ハ之ヨリ脱退スルコト
  - 十二、組合ノ解散、合併又ハ分割
- 前項第三號、第六號乃至第七號、第九號乃至第十二號ニ掲ケタル事項及第三十條第三項但書ノ決議ハ總組合員三分ノ二以上出席シ其ノ三分ノ二以上ノ同意アルコトヲ要ス
- 但シ規約ニ別段ノ規定アルトキハ此ノ限ニ在ラス
- 漁業協同組合ニ漁業者ニ非ザル組合員アル場合ニ於テ第一項第三號、第九號及第十號ニ掲ゲタル事項中漁業權又ハ入漁權ニ關スル事項並ニ第六號ノ二ニ掲ゲタル事項ニ付前項ノ規定ニ依リ爲ス決議ニハ尙漁業者タル組合員三分ノ二以上出席シ其ノ三

- 分ノ二以上ノ同意アルコトヲ要ス
- 漁業協同組合ニ漁業者ニ非ザル組合員アル場合ニ於テ第一項第八號ニ掲ゲタル事項ニ付第二十九條ノ規定ニ依リ爲ス決議ニハ尙漁業者タル組合員二分ノ一以上出席シ其ノ二分ノ一以上ノ同意アルコトヲ要ス
- 第二十一條 組合ノ地區ヲ擴張又ハ縮小スル爲規約ヲ變更セントスルトキハ擴張セントスル區域内ニ住所ヲ有スル漁業者又ハ縮小セントスル區域内ニ住所ヲ有スル漁業者タル組合員ノ三分ノ二以上ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス
- 第九條第一項但書ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス
- 第二十一條ノ二 漁業協同組合ガ出資一口ノ金額ノ減少ノ決議ヲ爲シタルトキハ其ノ決議ノ日ヨリ二週間内ニ財産目錄及貸借對照表ヲ作ルベシ
- 漁業協同組合ハ前項ノ期間内ニ其ノ債權者ニ對シ異議アラバ一定ノ期間内ニ之ヲ述べベキ旨ヲ規約ノ定ムル方法ニ從ヒテ公告シ且知レタル債權者ニ各別ニ之ヲ催告スベシ
- 但シ其ノ期間ハ二月ヲ下ルコトヲ得ズ

漁業組合令

一一一

第二十一條ノ三 債權者ガ前條第二項ノ期間内ニ出資ノ減少ニ對シテ異議ヲ述ベザリシトキハ之ヲ承認シタルモノト看做ス

債權者ガ異議ヲ述ベタルトキハ漁業協同組合ハ之ニ辨濟ヲ爲シ又ハ相當ノ擔保ヲ供スルニ非ザレバ出資ヲ減少スルヲ得ズ

第二十一條ノ四 前二條ノ規定ハ保證責任ノ組合ガ組合員ノ保證金額ヲ減少スル場合ニ之ヲ準用ス

第二十二條 第二十條第一項第二號、第六號、第九號及第十二號ニ掲ケタル事項ノ決議ハ地方長官ノ認可ヲ受クルニ非サレハ其ノ效力ヲ生セス

從來ノ慣行ニ因ル専用漁業權ノ處分ニ關スル決議ハ農林大臣ノ認可ヲ受クルニ非ザレバ其ノ效力ヲ生ゼズ

前二項ノ認可ノ申請書ニハ總會ノ決議録ノ謄本及左ノ書類ヲ添附スベシ

一、地區ノ擴張又ハ縮少ニ關スル規約ノ變更ニ付テハ第二十一條ノ同意ヲ證スル書面

二、出資一口ノ金額若ハ組合員ノ保證金額ノ減少又ハ組織變更ニ因ル組合員ノ責

任ノ減少ニ關スル規約ノ變更ニ付テハ第二十一條ノ二第二項及第二十一條ノ三

第二項ノ手續ヲ爲シタルコトヲ證スル書面、財産目錄並ニ貸借對照表

三、第五十條ノ七若ハ第五十條ノ九ノ場合ニ關スル規約ノ變更又ハ第五十二條ノ

二ノ場合ニ該當スル合併若ハ分割ニ付テハ第五十條ノ七ノ同意ヲ證スル書面及

第五十條ノ八ノ手續ヲ爲シタルコトヲ證スル書面

四、合併又ハ分割ニ付テハ合併若ハ分割後存續スル組合又ハ合併若ハ分割ニ因リ

テ設立スル組合ノ規約、第二十一條ノ二第二項及第二十一條ノ三第二項ノ手續

ヲ爲シタルコトヲ證スル書面、財産目錄並ニ貸借對照表

第二十三條 第二十條第一項第四號、第五號、第八號及第十號ニ掲ケタル事項ニ關シ臨時急施ヲ要シ總會ヲ招集スルノ暇ナキトキハ理事ハ專決處分シ次ノ總會ニ於テ其ノ承認ヲ求ムヘシ

第二十四條 總會ハ本令ニ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外理事之ヲ招集ス

第二十五條 通常總會ハ毎年少クトモ一回之ヲ開クヘシ

理事ハ經費ノ收支決算書、剩餘金ノ處分書、財産目錄及事業報告書ヲ通常總會ニ提

出シテ其ノ承認ヲ求ムヘシ

漁業法第四十三條ノ二第一項第三號又ハ第四號ノ事業ヲ行フ組合ニ在リテハ貸借對照表ヲ以テ前項ノ收支決算書ニ代フ。但シ組合員ニ經費ヲ分賦スル場合ニ於テハ其ノ經費ノ收支決算書ヲ併セ提出スベシ

監事ハ豫メ前二項ノ書類ニ付之ヲ調査シ其ノ意見ヲ通常總會ニ報告スヘシ

第二項ノ承認ヲ得タルトキハ組合ハ遲滯ナク之ヲ地方長官ニ届出ツヘシ

第二十六條 臨時總會ハ左ノ場合ニ於テ之ヲ招集ス

一、理事カ必要アリト認ムルトキ

二、總組合員ノ五分ノ一以上ヨリ會議ノ目的及事由ヲ記載シタル書面ヲ提出シテ總會ノ招集ヲ請求シタルトキ

三、第三十六條第三項ノ規定ニ依リ監事カ報告ヲ爲スノ必要アルトキ

前項第二號ノ場合ニハ組合ハ其ノ請求ヲ受ケタル日ヨリ二週間内ニ之ヲ招集スヘシ

第二十七條 總會ヲ招集スルニハ少クトモ三日前ニ會議ノ目的タル事項、日時及場所ヲ各組合員ニ通知スヘシ

總會ニ於テハ前項ノ規定ニ依リテ豫メ通知ヲ爲シタル事項ニ付テノミ決議ヲ爲スコトヲ得

但シ規約ニ別段ノ規定アルトキハ此ノ限りニ在ラス

第二十八條 組合員ハ各一個ノ議決權ヲ有ス

第二十九條 總會ノ決議ハ本令又ハ規約ニ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外出席シタル組合員ノ議決權ノ過半数ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

組合員ハ同居ノ成年者又ハ他ノ組合員ニ委任シテ其ノ議決權ヲ行フコトヲ得此ノ場合ニ於テハ其ノ組合員ハ之ヲ出席者ト看做ス

前項ノ受任者ハ委任狀ヲ組合ニ差出スヘシ

第三十條 組合ハ規約ノ定ムル所ニ依リ總會ニ代ルヘキ總代會ヲ設クルコトヲ得

總會ニ關スル規定ハ總代會ニ之ヲ準用ス

第二十條第一項第三號、第六號乃至第七號、第九號及第十二號ニ掲ケタル事項ノ決議ハ總代會ニ於テ之ヲ爲スコトヲ得ス

但シ起債又ハ規約ノ變更ニ付總會ノ委任アリタル事項ハ此ノ限ニ在ラス

漁業協同組合ニ漁業者ニ非サル組合員アル場合ニ於テハ第二十條第一項第八號ニ掲  
ゲタル事項並ニ第九號及第十號ニ掲ゲタル事項中漁業權又ハ入漁權ニ關スル事項ノ  
決議ハ總代会ニ於テ之ヲ爲スコトヲ得ズ

第三十一條 總代会ヲ組織スル總代ノ員數、選任、任期及解任ニ關スル規定ハ之ヲ規  
約中ニ設クヘシ

組合員ニ非サル者ハ總代ト爲ルコトヲ得ス

第四章 組合ノ管理

第三十二條 組合ニハ理事及督事ヲ置クニテ之ヲ管理スルコトヲ得、理事及督事ハ  
理事及監事ハ總會ニ於テ組合員中ヨリ之ヲ選任ス

但シ設立當時ノ理事及監事ハ創立總會ニ於テ組合員タルヘキ者ノ中ヨリ之ヲ選任ス  
ルコトヲ得

特別ノ事由アルトキハ組合員ニ非サル者ヨリ理事又ハ監事ヲ選任スルコトヲ得此ノ  
場合ニ於テハ其ノ選任ニ付地方長官ノ認可ヲ受クヘシ

第三十三條 理事ノ任期ハ三年トシ監事ノ任期ハ一年トス

但シ規約ニ別段ノ規定アルトキハ此ノ限ニ在ラス

第三十四條 理事及監事ハ何時ニテヒ總會ノ決議ヲ以テ之ヲ解任スルコトヲ得

第二十條第二項ノ規定ハ前項ノ決議ニ之ヲ準用ス

第三十五條 民法第五十二條第二項、第五十三條乃至第五十五條ノ規定ハ組合ノ理事  
ニ之ヲ準用ス

第三十六條 監事ハ組合ノ財産及事務執行ノ狀況ヲ監査ス

監事組合財産ノ狀況又ハ事務ノ執行ニ付不整ノ廉アルコトヲ發見シタルトキハ之ヲ  
總會及地方長官ニ報告スヘシ

監事ハ前項ノ報告ヲ爲スノ必要アルトキハ總會ヲ招集スルコトヲ得

第三十七條 監事ハ理事又ハ事務員ト相兼ヌルコトヲ得ス

第三十八條 組合ト理事トノ利益相反スル事項ニ付テハ監事組合ヲ代表スル理事  
理事缺ケタルトキハ監事其ノ職務ヲ行フ

但シ其ノ期間ハ三月ヲ超ユルコトヲ得ス  
理事ノ職務ヲ行フ者ナキトキハ地方長官ハ假理事ヲ選任シ理事ノ職務ヲ行ハシムル

コトヲ得

第三十九條 組合ハ理事其ノ他ノ代理人カ其ノ職務ヲ行フニ付他人ニ加ヘタル損害ヲ賠償スルノ責ニ任ス

第四十條 組合ハ規約及總會ノ決議録ノ謄本ヲ各事務所ニ備置キ且組合員名簿、總會ノ決議録、經費ノ收支豫算書、經費ノ收支決算書、財産目錄及事業報告書ヲ主ナル事務所ニ備置クヘシ

漁業法第四十三條ノ二第一項第三號又ハ第四號ノ事業ヲ行フ組合ニ在リテハ貸借對照表ヲ以テ前項ノ收支豫算書及收支決算書ニ代フ  
但シ組合員ニ經費ヲ分賦スル場合ニ於テハ其ノ經費ノ收支豫算書及收支決算書ヲ併セ備置クベシ

組合ハ組合員又ハ利害關係人ヨリ前二項ノ書類ノ閱覽ヲ求メタルトキハ正當ノ事由アル場合ヲ除クノ外之ヲ拒ムコトヲ得ス

第四十條ノ二 組合員名簿ニハ左ノ事項ヲ記載スベシ

一、各組合員ノ氏名、住所

二、各組合員ノ加入ノ年月日

三、保證責任ノ組合ニ在リテハ各組合員ノ保證金額

漁業協同組合ノ組合員名簿ニハ前項ニ掲ゲタル事項ノ外左ノ事項ヲ記載スベシ

一、各組合員ノ出資口數

二、各組合員ノ拂込ミタル金額及其ノ拂込ノ年月日

三、出資各口ノ取得ノ年月日

四、漁業者タル組合員ト漁業者ニ非ザル組合員トノ別

第四十一條 組合ハ理事又ハ監事ニ關スル登記ヲ爲シタルトキハ遅滞ナク登記シタル事項及其ノ登記ノ年月日ヲ地方長官ニ届出ツヘシ

第五章 組合ノ會計

第四十二條 組合ノ事業年度ハ一年トシ曆年ニ依ル

但シ特別ノ事由アルトキハ規約ノ定ムル所ニ依リ曆年ニ依ラサルコトヲ得

第四十三條 組合ハ經費ノ收支豫算ヲ議決シタルトキハ遅滞ナク之ヲ地方長官ニ報告スヘシ

漁業組合令

一三〇

第四十四條 漁業協同組合ニ非ザル組合ハ每事業年度ノ剩餘金ノ十分ノ一以上ヲ基金トシテ積立ツヘシ

基金ハ天災其ノ他己ムコトヲ得サル事由アル場合又ハ著シク組合員共同ノ利益ヲ増進スル爲必要ナル場合ヲ除クノ外之ヲ支出スルコトヲ得ス

第四十四條ノ二 漁業協同組合ハ規約ヲ以テ定メタル準備金ノ額ニ達スル迄每事業年度ノ剩餘金ノ四分ノ一以上ヲ積立ツベシ

前項ノ準備金ノ額ハ出資總額ヲ下ルコトヲ得ズ

第四十四條ノ三 漁業協同組合ノ組合員ガ其ノ出資ノ拂込ヲ終ル迄ハ之ニ配當スベキ剩餘金ハ其ノ拂込ニ充ツベシ

但シ取扱ヒタル物ノ數量、價額其ノ他事業ノ分量ニ對シテ配當スベキ剩餘金ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

組合員ニ配當スベキ剩餘金又ハ持分ノ計算ニ付テハ計算ノ基礎ト爲ルベキ金額ニシテ計算上不便ナル端數金額ハ之ヲ切捨ツルコトヲ得

第四十四條ノ四 漁業協同組合ハ損失ヲ填補シタル後ニ非ザレバ剩餘金ノ處分ヲ爲ス

コトヲ得ズ

剩餘金配當ニ關スル制限ハ農林大臣之ヲ定ム

第四十四條ノ五 漁業協同組合ハ第四十八條ノ二ノ場合ヲ除クノ外持分ノ拂戻ヲ爲スコトヲ得ズ

第四十四條ノ六 漁業協同組合ハ組合員ノ持分ヲ取得シ又ハ質權ノ目的トシテ之ヲ受クルコトヲ得ズ

第四十四條ノ七 第四十四條ノ三第二項中組合員ニ配當スベキ剩餘金ノ計算ニ關スル規定及第四十四條ノ四ノ規定ハ漁業協同組合ニ非ズシテ漁業法第四十三條ノ五ノ組織ヲ有スル組合ニ之ヲ準用ス

第六章 組合員ノ加入及脱退

第四十五條 組合ノ地區内ニ住所ヲ有スル漁業者組合ニ加入セムトスルトキハ組合ハ正當ノ理由ナクシテ加入ニ困難ナル條件ヲ附シ又ハ其ノ加入ヲ拒ムコトヲ得ス

漁業者ニ非ズシテ規約ノ定ムル所ニ依リ組合員タル資格ヲ有スル者組合ニ加入セントスルトキ亦前項ニ同シ

漁業組合令

一三一

漁業組合令

一三二

第四十六條 削除

第四十七條 組合員ノ死亡ニ因リ家督相續開始シタルトキハ家督相續人ハ相續ノ目ヨリ被相續人ニ代リ組合員ト爲ル

但シ相續ノ開始アリタルコトヲ知リタル日ヨリ三月内ニ之ニ異リタル意思ヲ表示シタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第四十八條 組合員ハ事業年度ノ終ニ於テ脱退スルコトヲ得

第四十八條ノ二 漁業協同組合ヨリ脱退シタル組合員ハ規約ノ定ムル所ニ依リ持分ノ全部又ハ一部ノ拂戻ヲ請求スルコトヲ得

第四十八條ノ三 漁業協同組合ヨリ脱退シタル組合員ノ持分ハ其ノ脱退シタル事業年度ノ終ニ於ケル組合財産ニ依リテ之ヲ定ム

但シ規約ノ定ムル所ニ依リ脱退當時ノ財産ニ依リテ之ヲ定ムルコトヲ得

第四十八條ノ四 漁業協同組合ヨリ脱退シタル組合員ニ對スル持分ノ拂戻ハ事業年度ノ終ヨリ三月内ニ之ヲ爲スベシ

但シ前條但書ノ場合ニ於テハ脱退ノ時ヨリ三月内ニ之ヲ爲スベシ

持分拂戻ノ請求權ハ前項ノ期間經過ノ後二年間之ヲ行ハザルニ因リテ消滅ス

第四十八條ノ五 漁業協同組合ニ於テ持分ノ計算ヲ爲スニ當リ組合財産ヲ以テ組合ノ債務ヲ完済スルニ足ラザルトキハ脱退シタル組合員ハ其ノ負擔ニ歸スベキ損失額ヲ拂込ムベシ

第四十八條ノ六 漁業協同組合ヨリ脱退シタル組合員ガ組合ニ對スル債務ヲ完済スル迄ハ組合ハ其ノ持分ノ拂戻ヲ停止スルコトヲ得

第四十九條 組合員ハ左ノ事由ニ因リテ脱退ス

一、組合員タル資格ノ喪失

二、死亡

三、除名

除名ハ除名シタル組合員ニ其ノ旨ヲ通知スルニ非ザレバ之ヲ以テ其ノ組合員ニ對抗スルコトヲ得ズ

第五十條 正當ノ理由ナクシテ組合ノ加入ニ困難ナル條件ヲ附セラレ若ハ加入ヲ拒マレタル漁業者又ハ不當ニ除名セラレタル漁業者ハ六十日内ニ地方長官ニ裁決ヲ申請

漁業組合令

一三三

漁業組合令

一三四

スルコトヲ得  
地方長官ニ於テ宥恕スベキ事由アリト認ムルトキハ期限經過後ニ於テモ仍前項ノ規定ニ依ル裁決ノ申請ヲ受理スルコトヲ得

第六章ノ二 漁業協同組合ノ組合員ノ權利義務

第五十條ノ二 組合員ノ有スベキ出資口數ハ三十口ヲ超ユルコトヲ得ズ

但シ特別ノ事由アルトキハ規約ノ定ムル所ニ依リ五十口迄之ヲ増加スルコトヲ得

第五十條ノ三 組合員ハ組合ニ拂込ムベキ出資額ニ付相殺ヲ以テ組合ニ對抗スルコトヲ得ズ

第五十條ノ四 組合員ハ組合ノ承諾アルニ非ザレバ其ノ持分ヲ讓渡スコトヲ得ズ

組合員ニ非ザル者ニシテ持分ヲ讓受ケントスルトキハ加入ノ例ニ依ルベシ

第五十條ノ五 組合員ハ持分ヲ共有スルコトヲ得ズ

第五十條ノ六 持分ノ讓受人ハ其ノ持分ニ付讓渡人ノ權利義務ヲ承繼ス

第六章ノ三 組織變更

第五十條ノ七 無限責任、有限責任又ハ保證責任ノ組合ハ總組合員ノ四分ノ三以上、

同意ヲ以テ其ノ組織ヲ變更スルコトヲ得

第五十條ノ八 前條ノ規定ニ依ル組織變更ノ同意アリタルトキハ組合ハ遲滞ナク組織變更ニ同意シタル組合員以外ノ組合員ニ對シ組織變更ニ同意セザル者ハ通知ヲ受ケタル日ヨリ三週間内ニ其ノ旨ヲ申出ヅル場合ニ限り組織變更ノ時ニ於テ脱退シタルモノト看做サル旨ノ通知ヲ爲スベシ  
前項ノ組織變更ニ同意シタル組合員以外ノ組合員ニシテ前項ノ期間内ニ組合ニ對シ組織變更ニ同意ヲ爲サザル旨ノ申出ヲ爲シタルモノハ組織變更ノ時ニ於テ脱退シタルモノト看做ス

第五十條ノ九 無限責任、有限責任又ハ保證責任ノ組合ニ非ザル組合ハ前二條ノ規定ニ準ジテ漁業協同組合又ハ漁業協同組合ニ非ズシテ漁業法第四十三條ノ五ノ組織ヲ有スル組合ト爲ルコトヲ得

漁業協同組合ニ非ズシテ漁業法第四十三條ノ五ノ組織ヲ有スル組合ハ前二條ノ規定ニ準ジテ漁業協同組合ト爲ルコトヲ得  
第十五條ノ二ノ規定ハ前二項ノ規定ニ依リ組合ガ漁業協同組合ト爲リタル場合ニ之

漁業組合令

一三五

漁業組合令

一三六

ヲ準用ス

第五十條ノ十 第二十一條ノ二及第二十一條ノ三ノ規定ハ組合ガ組織變更ニ因リ組合員ノ責任ヲ減少スル場合ニ之ヲ準用ス

第五十條ノ十一 無限責任、有限責任又ハ保證責任ノ組合ニ非ザル組合ガ漁業協同組合ト爲リタルトキハ第五十條ノ九第三項ノ規定ニ依リ第一回ノ拂込アリタル日ヨリ二週間内ニ、無限責任、有限責任又ハ保證責任ノ組合ニ非ザル組合ガ漁業協同組合ニ非ズシテ漁業法第四十三條ノ五ノ組織ヲ有スル組合ト爲リタルトキハ二週間内ニ各事務所ノ所在地ニ於テ組織設定ノ登記及第十六條第二項ニ掲ゲタル事項ノ登記ヲ爲スベシ

漁業協同組合ニ非ズシテ漁業法第四十三條ノ五ノ組織ヲ有スル組合ガ漁業協同組合ト爲リタルトキハ第五十條ノ九第三項ノ規定ニ依リ第一回ノ拂込アリタル日ヨリ二週間内ニ第十六條第二項第五號ニ掲ゲタル事項ノ登記ヲ爲スベシ

第五十條ノ十二 第十六條ノ二ノ規定ハ組合ガ前條ノ登記又ハ組織變更ノ登記ノ申請ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

第七章 組合ノ分合

第五十一條 組合カ合併又ハ分割ノ決議ヲ爲シタルトキハ其ノ決議ノ日ヨリ二週間内ニ財産目録及貸借對照表ヲ作ルヘシ分割ヲ爲ス場合ニ於テハ尙分割後設立スル組合カ承繼スヘキ權利義務ノ限度ヲ記載シタル書面ヲ作ルヘシ

第五十二條 第二十一條ノ二第二項及第二十一條ノ三ノ規定ハ合併又ハ分割ノ場合ニ之ヲ準用ス

第五十二條ノ二 第五十條ノ七及第五十條ノ八ノ規定ハ無限責任、有限責任又ハ保證責任ノ組合ガ合併又ハ分割ニ因リテ組織變更ト同一ノ結果ヲ生ズベキ場合ニ之ヲ準用ス無限責任、有限責任又ハ保證責任ノ組合ニ非ザル組合ガ合併又ハ分割ニ因リ漁業協同組合又ハ漁業協同組合ニ非ズシテ漁業法第四十三條ノ五ノ組織ヲ有スル組合ト爲ル場合及漁業協同組合ニ非ズシテ漁業法第四十三條ノ五ノ組織ヲ有スル組合ガ合併又ハ分割ニ因リ漁業協同組合ト爲ル場合ニ付亦同シ

第五十三條 組合カ合併又ハ分割ヲ爲シタルトキハ二週間内ニ各事務所ノ所在地ニ於テ合併又ハ分割後存続スル組合ニ付テハ變更ノ登記ヲ爲シ、合併又ハ分割ニ因リテ

漁業組合令

一三七

消滅シタル組合ニ付テハ解散ノ登記ヲ爲シ、合併又ハ分割ニ因リテ設立シタル組合ニ付テハ設立ノ登記ヲ爲スヘシ

第五十四條 合併後存続スル組合又ハ合併ニ因リテ設立シタル組合ハ合併ニ因リテ消滅シタル組合ノ権利義務ヲ承継ス

分割ニ因リテ設立シタル組合ハ第五十一條ノ規定ニ依リテ定メタル限度ニ於テ従前ノ組合ノ権利義務ヲ承継ス

第八章 組合ノ解散及清算

第五十五條 組合ハ左ノ事由ニ因リテ解散ス

- 一、規約ニ定メタル事由ノ發生
- 二、組合員カ五人未滿ニ減シタルトキ
- 三、總會ノ決議
- 四、組合ノ合併
- 五、組合ノ分割
- 六、組合ノ破産

第七、行政官廳ノ處分

第五十六條 組合カ其ノ債務ヲ完済スルコト能ハザルニ至リタルトキハ裁判所ハ組合若ハ債權者ノ請求ニ因リ又ハ職權ヲ以テ破産ノ宣告ヲ爲スヘシ

前項ノ場合ニ於テ組合ハ直ニ破産宣言ノ請求ヲ爲スヘシ

第五十七條 組合ノ清算ハ組合ノ主タル事務所所在地ノ區裁判所ノ監督ニ屬ス

裁判所ハ何時ニテモ職權ヲ以テ前項ノ監督ニ必要ナル検査ヲ爲シ又ハ特ニ選任シタル者ヲシテ監督ニ必要ナル検査ヲ爲サシムルコトヲ得

第五十八條 組合ハ合併、分割及破産ノ場合ヲ除クノ外解散後二週間内ニ各事務所ノ所在地ニ於テ清算人ノ氏名、住所及解散ノ原因、年月日ノ登記ヲ爲シ且合併及分割ノ場合ヲ除クノ外之ヲ地方長官ニ届出ツヘシ

但シ行政官廳ノ處分ニ因リテ解散シタルトキハ解散ノ原因及其ノ年月日ノ届出並登記ノ申請ヲ爲スコトヲ要セス

清算中ニ就職シタル清算人アルトキハ組合ハ就職後二週間内ニ清算人ノ氏名、住所ノ登記ヲ爲シ且之ヲ地方長官ニ届出ツヘシ

前二項ノ規定ニ依リ登記シタル事項中ニ變更ヲ生シタルトキハ組合ハ二週間内ニ其ノ登記ヲ爲シ且之ヲ地方長官ニ届出ツヘシ

第五十九條 組合ノ解散ヲ命シタルトキハ行政官廳ハ解散ヲ命シタルコト及其ノ年月日ノ登記ヲ囑託スヘシ

登記所ハ前項ノ囑託ニ因リテ其ノ登記ヲ爲スヘシ

第六十條 組合カ解散シタルトキハ合併、分割及破産ノ場合ヲ除クノ外理事其ノ清算人ト爲ル

但シ規約ニ別段ノ規定アルトキ又ハ總會ニ於テ他人ヲ選任シタルトキハ此ノ限ニ在ラス

清算人ハ其ノ職務ノ範圍内ニ於テ理事ト同一ノ權利義務ヲ有ス

第六十一條 清算人ハ就職後遲滯ナク組合財産ノ現況ヲ調査シ財産目錄及貸借對照表ヲ作り殘餘財産ノ處分方法ヲ定メ之ヲ總會ニ提出シテ其ノ承認ヲ求ムヘシ

第六十二條 清算中ノ組合ハ組合ノ債務ヲ辨濟シ又ハ辨濟ニ必要ナル金額ヲ供託スルニ非サレハ殘餘財産ノ處分ヲ爲スコトヲ得ス

第六十三條 清算中ノ組合ハ清算人就職ノ日ヨリ二月内ニ少クトモ三回ノ公告ヲ以テ

債權者ニ對シ一定ノ期間内ニ其ノ請求ノ申出ヲ爲スヘキ旨ヲ催告スヘシ

但シ其ノ期間ハ二月ヲ下ルコトヲ得ス

前項ノ公告ニハ債權者カ期間内ニ申出ヲ爲ササルトキハ其ノ債權ハ清算ヨリ除斥セラルヘキ旨ヲ附記スヘシ

但シ組合ハ知レタル債權者ヲ除斥スルコトヲ得ス

組合ハ知レタル債權者ニハ各別ニ其ノ申出ヲ催告スヘシ

第六十四條 清算中ノ組合ノ財産カ其ノ債務ヲ完済スルニ不足ナルコト分明ナルニ至リタルトキハ組合ハ直ニ破産宣告ノ請求ヲ爲シ且其ノ旨ヲ公告スヘシ

清算人ハ破産管財人ニ其ノ事務ヲ引渡シタルトキハ其ノ任ヲ終リタルモノトス

本條ノ場合ニ於テ既ニ債權者ニ支拂ヒ又ハ歸屬權利者ニ引渡シタルモノアルトキハ破産管財人ハ之ヲ取戻スコトヲ得

第六十五條 前二條ノ公告ハ裁判所カ爲スヘキ登記事項ノ公告ト同一ノ方法ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

漁業組合令

一四二

第六十五條ノ二 清算結了シタルトキハ各事務所ノ所在地ニ於テ其ノ登記ヲ爲スベシ  
第六十六條第三項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス  
第六十六條 民法第七十三條、第七十五條、第七十六條、第七十八條、第八十條、第八十三條及非訟事件手續法第三十七條ノ二、第三百三十六條乃至第三百三十八條ノ規定ハ組合ノ解散又ハ清算ニ之ヲ準用ス

第九章 聯合會

第六十七條 削除

第六十八條 削除

第六十九條 聯合會ノ設立者ハ規約ヲ作り聯合會設立ノ許可申請書ヲ地方長官ニ差出スベシ

前項ノ申請書ニハ規約、聯合會ヲ構成スベキ組合又ハ聯合會ノ聯合會設立ニ關スル總會ノ決議録ノ謄本及左ニ掲グル事項ヲ記載シタル書面ヲ添附スベシ

一、事業計畫

二、出資ノ總口數

三、保證責任ノ聯合會ニ在リテハ保證金額ノ總額

四、經費ノ一部ヲ構成者ニ分賦スル聯合會ニ在リテハ其ノ經費ノ初年度ニ於ケル收支豫算及分賦收入方法

第七十條 聯合會ノ所屬組合及所屬聯合會ノ有スベキ出資口數ハ百口ヲ超ユルコトヲ得ズ但シ特別ノ事由アルトキハ規約ノ定ムル所ニ依リ五百口迄之ヲ増加スルコトヲ得

第七十一條 聯合會ニハ理事及監事ヲ置ク

聯合會ノ理事及監事ハ總會ニ於テ所屬組合又ハ所屬聯合會ノ理事及監事ノ中ヨリ之ヲ選任ス但シ特別ノ事由アルトキハ理事又ハ監事ニ非ザル者ヨリ選任スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ其ノ選任ニ付地方長官ノ認可ヲ受クベシ

聯合會設立當時ノ理事及監事ハ規約ヲ以テ之ヲ定ムベシ

第七十二條 削除

第七十三條 削除

第七十四條 聯合會ハ左ノ事由ニ因リテ解散ス

漁業組合令

一四三

- 一、規約ニ定メタル事由ノ發生
- 二、總會ノ決議
- 二ノ二、聯合會ノ合併
- 二ノ三、聯合會ノ分割
- 三、聯合會ノ破産
- 四、行政官廳ノ處分

第七十五條 第十二條、第十條五ノ二乃至第十九條、第二十條（第三項及第四項ヲ除ク）第二十一條ノ二乃至第二十九條、第三十條（第四項ヲ除ク）第三十一條、第三十三條乃至第四十三條、第四十四條ノ二乃至第四十四條ノ六、第四十五條第一項、第四十八條乃至第四十九條、第五十條ノ三乃至第五十條ノ八、第五十條ノ十、第五十條ノ十二乃至第五十四條及第五十六條乃至第六十六條ノ規定ハ聯合會ニ之ヲ準用ス但シ第二十條第一項第八條ノ組合員ハ所屬ノ組合聯合會又ハ組合員、第四十五條第一項ノ漁業者ハ組合又ハ聯合會トス

第十章 登記手續

第七十六條 組合ノ登記ニ付テハ其ノ事務所所在地ノ區裁判所又ハ其ノ出張所、聯合會ノ登記ニ付テハ其ノ事務所所在地ノ區裁判所ヲ以テ管轄登記所トス

第七十七條 各登記所ニ漁業組合登記簿及漁業組合聯合會登記簿ヲ備フ

第七十八條 組合又ハ聯合會設立ノ登記及第五十條ノ十一ノ規定ニ依リ爲スベキ登記ハ理事及監事ノ全員ニ申請ニ因リテ之ヲ爲ス

申請書ニハ規約、創立總會若ハ總會ノ決議録ノ謄本、設立許可書又ハ規約變更、合併若ハ分割ノ認可書並ニ理事及監事ノ資格ヲ證スル書面ヲ添附シ且漁業協同組合又ハ聯合會ノ登記ニ付テハ出資ノ第一回ノ拂込アリタルコトヲ證スル書面ヲ添附スベシ

設立許可書又ハ規約變更、合併若ハ分割ノ認可書ハ地方長官ノ認證アル謄本ヲ以テ之ニ代フルコトヲ得

第七十九條 事務所ノ新設、移轉其ノ他登記事項ノ變更ノ登記ハ理事、其ノ職務ヲ行フ監事若ハ假理事又ハ清算人ノ申請ニ因リテ之ヲ爲ス但シ組合又ハ聯合會ノ組織變更、合併若ハ分割又ハ出資一口ノ金額若ハ構成者ノ保證金額ノ減少ニ因ル變更ノ登記

漁業組合令

記ハ理事及監事ノ全員ヨリ之ヲ爲スベシ

申請書ニハ申請人ノ資格ヲ證スル書面及登記事項ノ變更ヲ證スル書面並ニ出資一口ノ金額若ハ構成者ノ保證金額ノ減少又ハ組織變更ニ因ル構成者ノ責任ノ減少ニ付第二十一條ノ二第二項及第二十一條ノ三第二項ノ手續ヲ爲シタルコトヲ證スル書面ヲ添附シ且地方長官ノ認可ヲ要スルモノニ付テハ認可書又ハ其ノ認證アル謄本ヲ添附スヘシ

第七十九條ノ二 前ニ登記ノ申請ヲ爲シタル申請人ガ同一登記所ニ前二條ノ申請ヲ爲ス場合ニ於テハ其ノ資格ヲ證スル書面ヲ添附スルコトヲ要セズ

第八十條 合併又ハ分割ニ因ル解散ノ登記ハ解散シタルトキノ理事及監事ノ全員ノ申請ニ因リテ之ヲ爲ス

申請書ニハ總會ノ決議録ノ謄本、第二十一條ノ二第二項及第二十一條ノ三第二項ノ手續ヲ爲シタルコトヲ證スル書面並合併若ハ分割ノ認可書又ハ地方長官ノ認證アル謄本ヲ添附スヘシ

第八十條ノ二 清算終了ノ登記ハ清算人ノ申請ニ因リテ之ヲ爲ス

第八十一條 本令ニ依リ登記シタル事項ハ裁判所遲滞ナク之ヲ公告スヘシ但シ組合原簿ニ記載シタル事項ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

第八十二條 非訟事件手續法第二百二十二條、第四百一條乃至第五百一條ノ六、第五百十四條乃至第五百十八條、第六十五條及第七十五條乃至第七十七條ノ規定ハ組合又ハ聯合會ノ登記ニ之ヲ準用ス

第十一章 罰 則

則

第八十三條 組合又ハ聯合會ノ行爲ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當シタルトキハ其ノ理事、監事、假理事又ハ清算人ヲ參百圓以下ノ過料ニ處ス

一、本令ニ依ル登記ヲ爲スコトヲ怠リ又ハ不正ノ登記ヲ爲シタルトキ

二、官廳ニ對シ不實ノ申立ヲ爲シ又ハ事實ヲ隱蔽シタルトキ

三、官廳ノ徵スル報告ヲ差出サス又ハ其ノ検査ヲ拒ミタルトキ

四、本令ニ依ル届出又ハ報告ヲ怠リタルトキ

五、本令ニ依ル總會ノ招集ヲ怠リタルトキ

六、本令ニ依リ事務所ニ備置クヘキ書類ヲ備ヘサルトキ、其ノ書類ニ記載スヘキ事

漁業組合令

一四八

項ヲ記載セス若ハ不正ノ記載ヲ爲シタルトキ又ハ正當ノ理由ナクシテ其ノ閱覽ヲ拒ミタルトキ

七、本令ニ依ル基金ノ積立ヲ爲サス又ハ之ヲ不當ニ支出シタルトキ

七ノ二、第四十四條ノ二、第四十四條ノ三、第四十四條ノ五又ハ第四十四條ノ六ノ

規定ニ違反シタルトキ

七ノ三、法令又ハ規約ニ違反シテ剩餘金ヲ處分シタルトキ

八、本令ニ違反シテ破産ノ宣告ヲ請求セサルトキ

九、本令ニ違反シテ剩餘財産ヲ處分シタルトキ

十、第六十三條ノ場合ニ於テ一部ノ債權者ヲ利スルノ目的ヲ以テ期間内ニ辨濟ヲ爲シタルトキ

十一、本令ニ依ル催告若ハ公告ヲ怠リ又ハ不正ノ公告ヲ爲シタルトキ

附 則

第八十四條 本令ハ明治四十四年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

第八十五條 舊漁業法ニ依リ設ケタル漁業組合ハ本令ニ依リ設立シタルモノト看做ス

第八十六條 前條ノ漁業組合ハ本令施行後一年內ニ各事務所ノ所在地ニ於テ第十六條

第二項ニ掲ケタル事項ヲ登記スヘシ

前項ノ登記ハ理事及監事ノ全員ノ申請ニ因リテ之ヲ爲ス

申請書ニハ規約、設置認可書並理事及監事ノ選任認可書ヲ添附スヘシ但シ地方長官ノ證明書又ハ認證アル謄本ヲ以テ認可書ニ代フルコトヲ得

選任認可書ニ依リ理事及監事ノ氏名ヲ明ニスルコト能ハサルトキハ官廳ノ證明書ヲ以テ其ノ氏名ヲ證スヘシ

第八十七條 舊漁業法ニ依リ設ケタル漁業組合ニシテ清算中ノモノニ付テハ其ノ清算ノ終了ニ至ル迄仍從前ノ規定ニ依ル

附 則

(昭和九年勅令  
第二百三十二號附則)

第一條 本令ハ昭和八年法律第三十三號施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第二條 第五條ノ二、第二十五條第三項及第四十條第二項ノ規定ハ昭和八年法律第三十三號附則第二條ノ組合ニ付テハ漁業協同組合又ハ漁業協同組合ニ非ズシテ漁業法

漁業組合令

一四九

第四十三條ノ五ノ組織ヲ有スル組合ト爲ル迄ノ間之ヲ適用セズ

第三條 昭和八年法律第三十三號附則第三條ノ聯合會ハ其ノ所屬組合ノ全部ガ漁業協同組合又ハ漁業協同組合ニ非ズシテ漁業法第四十三條ノ五ノ組織ヲ有スル組合ト爲リタルトキハ同條ノ期間内ニ所屬組合三分ノ二以上ノ同意ヲ以テ有限責任又ハ保證責任ノ聯合會ト爲ルコトヲ得

第五十條ノ八、第五十條ノ十一、第五十條ノ十二、第七十一條第三項及第七十八條ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第四條 昭和八年法律第三十三號附則第三條ノ聯合會ニ關シテハ有限責任又ハ保證責任ノ聯合會ト爲ル迄ノ間第五條ノ二及第九章ノ改正規定ニ依ラズ仍從前ノ例ニ依ル

漁業法第四十三條ノ八ノ規定ニ依リ漁業協同  
組合ノ自ラ營ム漁業ニ關スル件

〔昭和九年七月二十五日  
勅令 第二百三十四號〕

第一條 漁業協同組合ガ漁業法第四十三條ノ八ノ規定ニ依リ自ラ漁業ヲ營マントスル  
トキハ農林大臣ノ許可ヲ受クベシ

第二條 前條ノ許可ハ漁業協同組合ノ有スル漁業權又ハ入漁權ニ屬スル漁業ニ付左ノ  
各號ノ一ニ該當シ且組合事業ノ經營ニ支障ヲ生ズルノ虞ナシト認ムル場合ニ限り之  
ヲ爲スコトヲ得

一、組合ノ行フ水産動植物ノ増殖施設又ハ蕃殖保護ノ效果ヲ舉グル爲其ノ水産動植  
物ヲ目的トスル漁業ニ付其ノ統制ヲ必要トスル場合

二、寄魚漁業、建切網漁業、地曳網漁業其ノ他多數者ノ協力操業ヲ必要トシ且農林  
大臣ノ指定シタル漁業ニ付組合員ノ多數ヲ操業ニ參加セシメテ營ム場合

第三條 漁業協同組合第一條ノ許可ヲ受ケタル漁業ニ付左ノ各號ノ一ニ該當スルトキ

ハ農林大臣ハ許可シタル漁業ヲ停止シ又ハ其ノ許可ヲ制限シ若ハ取消スコトヲ得  
一、漁業法若ハ漁業法ニ基キテ發スル命令又ハ之ニ基キテ爲ス處分ニ違反シタルト  
キ

二、許可ニ附シタル制限又ハ條件ニ違反シタルトキ

三、組合員ノ利益ヲ著シク害シ又ハ害スルノ虞アリト認メタルトキ

四、組合事業ノ經營ニ支障ヲ生ジ又ハ生ズルノ虞アリト認メタルトキ

五、漁業經營ノ方法不適當ト認メタルトキ

附 則

本令ハ昭和八年法律第三十三號施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

〔參 照〕

明治四十三年 四月二十 法律第五十八號 漁業法抄錄

第四十三條ノ八、漁業協同組合ハ命令ノ定ムル所ニ依リ行政官廳ノ許可ヲ得テ自ラ  
漁業ヲ管ムコトヲ得

漁業協同組合ノ自ラ營ム漁業ノ許可ニ關スル件

〔昭和九年七月二十五日  
農林省令第十八號〕

第一條 漁業協同組合自ラ漁業ヲ營ムコトノ許可ヲ受ケントスルトキハ漁業ノ名稱毎  
ニ申請書ニ左ニ掲グル事項ヲ記載シ農林大臣ニ之ヲ提出スベシ

- 一、漁業ノ名稱
- 二、漁業ノ場所
- 三、漁業ノ時期
- 四、漁獲物ノ種類

第二條 前條ノ申請書ニハ組合員總會ノ決議録ノ謄本、財産目錄、貸借對照表、收支  
決算書及自ラ營メントスル漁業ニ付漁業權又ハ入漁權ヲ有スルコトヲ證スル書面並  
ニ左ニ掲グル事項ヲ記載シタル書面ヲ添附スベシ

- 一、自ラ漁業ヲ營メントスル理由
- 二、事業計畫收支豫算及經營ノ方法

漁業協同組合ノ自ラ營ム漁業ノ許可ニ關スル件

漁業協同組合ノ自ラ營ム漁業ノ許可ニ關スル件

一五四

- 三、經營ニ要スル資金ヲ借入ルル場合ニ於テハ其ノ金額、利率、借入先及償還方法
  - 四、操業ニ參加セシメントスル者ノ員數（漁業者タル組合員及其ノ家族、漁業者ニ非ザル組合員及其ノ家族並ニ組合員ニ非ザル者ニ區別シテ記載スベシ）
  - 五、最近三箇年ニ於ケル當該漁業ノ狀況
  - 六、現ニ當該漁業ニ従事スル者ノ員數（組合員及其ノ家族並ニ組合員ニ非ザル者ニ區別シテ記載スベシ）
- 自ラ營マントスル漁業ガ入漁權、共有ノ漁業權若ハ共有ノ入漁權ニ屬スル場合又ハ自ラ營マントスル漁業ニ付入漁ヲ爲ス者アル場合ニ於テハ前項ノ書類ノ外入漁權ノ目的タル専用漁業權ヲ有スル者、他ノ共有者又ハ入漁ヲ爲ス者ノ同意アリタルコトヲ證スル書面ヲ、同意ナキトキハ其ノ理由ヲ記載シタル書面ヲ添附スベシ
- 前二項ノ書類ノ外農林大臣ハ必要ト認ムル書類ノ提出ヲ命ズルコトアルベシ
- 第三條 第一條第二號乃至第四號ニ掲ゲタル事項ヲ變更セントスルトキハ農林大臣ノ認可ヲ受クベシ前條第一項第二號乃至第四號ニ掲ゲタル事項ニ重大ナル變更ヲ加ヘントスルトキ亦同シ

第四條 自ラ漁業ヲ營ムコトノ許可ヲ受ケタル漁業協同組合ハ每事業年度終了後二月

以内ニ當該漁業ニ關スル事業報告書及收支決算書ヲ農林大臣ニ提出スベシ

第五條 本則ニ依リ農林大臣ニ提出スベキ書類ハ漁業協同組合ノ主タル事務所所在地ノ地方長官ヲ經由スベシ

附 則

本令ハ昭和八年法律第三十三號施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

